

消 防 年 報

平成 3 0 年度版



小 豆 地 区 消 防 本 部
(令 和 元 年 刊 行)

は し が き

1. この年報は、平成30年中における小豆地区消防本部の業務に関する諸般の事項についてその実態を収録し、広く一般に紹介するとともに将来の消防防災活動の資料とするため作成しました。
2. この統計中、予算関係事項については会計年度とし、火災・救急統計は歴年、その他については当該表右上部に収録期日を表しています。

令和 元年 9月

小豆地区消防本部

目 次

総 務

1.	位置及び自然的条件	1
2.	管内図と消防本部・署の位置	2
3.	小豆郡内常備消防の沿革	3
4.	消防の沿革（組合）	4～11
5.	主たる総務行事	12
6.	歴代管理者	13～14
7.	歴代消防長	14～15
8.	歴代消防署長	15～16
9.	消防の組織・機構	17
10.	事務分掌	18～19
11.	管内面積及び人口・世帯数	19
12.	消防庁舎の現状	20
13.	職員の勤務年数	20
14.	職員の年齢	21
15.	職員の配置状況	21
16.	消防力の現勢	22
17.	消防職員・消防車等に対する人口及び世帯数の割合	22
18.	消防予算	23
19.	平成31年度町別一般会計予算と消防予算	23
20.	消防費基準財政需要額及び町負担金	23
21.	職員特殊技能資格取得状況	24
22.	職員教養状況調	25
23.	職員居住地調	25
24.	職員任用退職状況調	26
25.	職員の推移	27

予 防

1.	主たる予防行事	28
2.	「防火優良認定証」交付対象物状況	28
3.	自主防災組織の現況	28～29
4.	防火対象物現況表	30
5.	防火管理者選任届状況	31
6.	建築同意事務処理状況	32～33
7.	危険物施設の現況	34
8.	危険物施設の許認可状況	34
9.	各種届出事務処理状況	35
10.	広報・広聴実施状況	35
11.	中高層建築物（4階以上）の現況表	36

消 防 防 災

1. 主たる警防行事	37
2. 主たる救急行事	37
3. 消防車両等配置状況	38
4. 主な機械器具の配置状況	39～40
5. 消火薬剤の備蓄状況	40
6. 消防水利の現況	41
7. 防災関係届出事務処理状況	41
8. 災害別出動状況	41
9. 救急法指導状況	42

情 報 指 令

1. 消防通信指令システム系統図	43
2. 通信施設状況	44～46
3. 119番受信状況	47
4. 気象状況（観測地：消防本部）	47
5. 気象情報受理状況	48

火 災 統 計

1. 火災発生状況	49
2. 時間別火災状況	50
3. 月・曜日別火災状況	50
4. 月別火災状況	51
5. 覚知別火災状況	51
6. 原因別火災状況	51
7. 建物火災用途別火災状況	52
8. 過去10ヶ年の火災状況	52

救 急 統 計

1. 事故別救急出場状況	5 3
2. 覚知別救急出場状況	5 3
3. 医療機関等収容可能状況照会回数	5 3
4. 救急隊員の行った応急処置数	5 4
5. 時間別救急出場状況	5 4
6. 曜日別救急出場状況	5 5
7. 現場到着所要時間別出場状況	5 5
8. 収容所要時間別搬送人員	5 5
9. 年齢区分別搬送人員	5 6
10. 発生場所別搬送人員	5 6
11. 管轄外転院搬送件数	5 6
12. 傷病程度別搬送人員	5 7
13. 小豆2町、年別救急出場状況	5 7
14. 過去10ヶ年の主な救急出場状況	5 7

消 防 団

1. 2町消防団現勢分布図	5 8
2. 消防団の組織・機構	5 9
3. 消防団員の勤務年数及び年齢	6 0
4. 消防団員数及び装備状況	6 0～6 1
5. 町別消防車両等種別現況	6 1～6 2
6. 消防団員報酬調	6 2
7. 消防団員諸手当調	6 2

総務



総 務

1. 位置及び自然的条件

小豆島は、香川県の北東部に位置し、瀬戸大橋と鳴門大橋が展望でき、瀬戸内海では淡路島に次いで大きな島であり、土庄町、小豆島町の2町で構成されている。

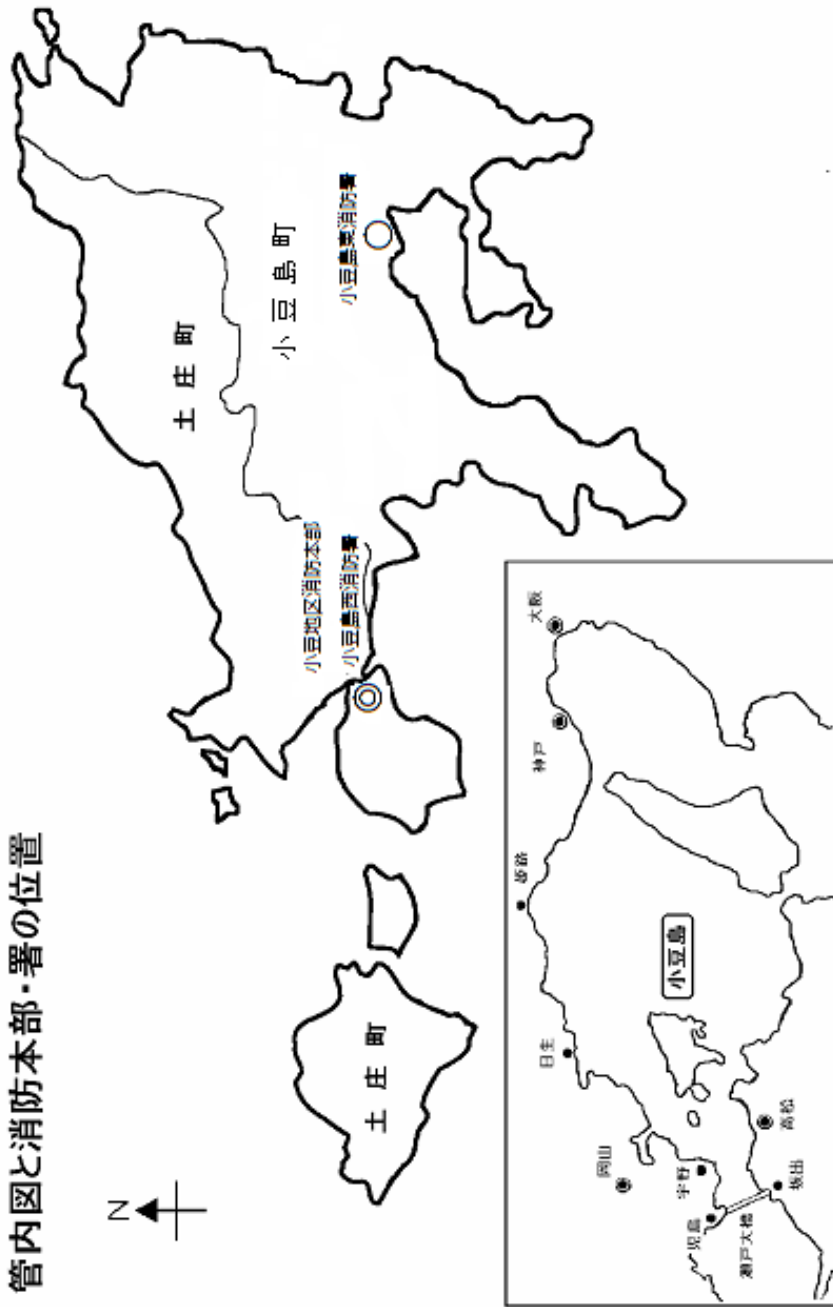
地形は、全島ほとんどが花崗岩を基盤とする山地で、平坦地は主として、南に向けて開けており、東西及び北に面する地域は、山が急斜面をなして海中に入り、極めて小さな平坦地が点在する。

奇峰の多い山岳地形の中には、瀬戸内海地域における最高峰816mの星ヶ城山を有し、また、海岸線はリアス式海岸特有の美しい曲線を描いており、小豆島は、瀬戸内海国立公園「寒霞渓」をはじめ豊かな観光資源に恵まれている。

四季を通じて温和な気候に恵まれ、全国でも名を高めている醤油、佃煮、手延そうめん等の製造及び電照菊の栽培が盛んであり、中でも県花、県木となっているオリーブの栽培に適し南国情緒豊かな島である。



2. 管内図と消防本部・署の位置



3. 小豆郡内常備消防の沿革

内 海 町

昭和 37 年 4 月	内海町消防団常備部を新設し、常勤消防団員 3 名採用する。
6 月	常勤消防団員 1 名内海町へ。
10 月	常勤消防団員 2 名採用、初動態勢の確立を期し常備消防業務を開始する。 夜間は常勤消防団員 2 名、非常勤消防団員 3 名にて当直を実施し初動態勢の強化を図った。(昭和 38 年 3 月まで実施)
昭和 38 年 4 月	常勤消防団員 3 名採用、常勤消防団員 7 名となる。
7 月	消防庁舎を安田甲 1 4 4 の 9 0 (町役場敷地内) に新築する。
10 月	常勤消防団員 1 名増員 (内海町より) 常勤消防団員 8 名となる。
昭和 41 年 8 月	常勤消防団員 1 名退職し、1 名採用する。
昭和 45 年 3 月	常勤消防団員 1 名退職、常勤消防団員 7 名となる。
4 月	内海町消防団常備部を廃止し、内海町消防本部を新設する。職員 3 名採用、職員 1 0 名となり、災害早期覚知、早期出動及び予防行政の強化を期し、その任にあたる。

土 庄 町

昭和 38 年 4 月	高層大型化する町内旅館群等の急増から予防行政の強化を期し、町役場内に土庄町消防本部を新設、職員 4 名にてその任にあたる。夜間当直 1 名。
10 月	消防本部内に兼務消防隊 (役場職員 1 2 名) を設置し、初動態勢の強化を図った。
昭和 39 年 4 月	消防本部を土庄町甲 6 1 2 (土庄分団屯所内) へ移転する。 職員 3 名を採用し、専任職員 7 名となる。
昭和 41 年 4 月	職員 1 名土庄町へ、職員 1 名採用する。
10 月	レンジャー訓練を開始する。
昭和 42 年 6 月	職員 3 名を採用し、専任職員 1 0 名となる。
11 月	専任職員 2 名を編成して旅館群、病院等の夜間パトロールを開始。 (本年より毎年火災多発期の 1 1 月～3 月実施) 夜間当直 2 名。
昭和 43 年 4 月	政令指定により消防本部内に土庄消防署を設置する。
6 月	職員 3 名増員 (土庄町より) 専任職員 1 3 名となる。 消防本部・署を土庄町甲 5 6 1 (旧土庄中学校) へ移転する。
昭和 44 年 4 月	職員 4 名採用し専任職員 1 7 名となる。
10 月	消防署の編成を 1 車隊 6 名とし、隔日勤務体制を敷く。
昭和 45 年 2 月	消防本部・署を土庄町湊崎甲 2 0 4 4 (旧土地改良事務所) へ移転する。
4 月	女性職員 1 名増員 (土庄町より) 職員 1 8 名となる。
昭和 46 年 7 月	職員 1 名増員 (土庄町より) 職員 1 9 名となる。
昭和 47 年 3 月	職員 2 名土庄町へ、職員 1 7 名となる。

消防組合設立への機運

昭和45年1月12日池田町内の2カ所から同時に出火した林野火災は延々3日間にわたり燃え続け、1月14日 延べ524haを焼失し鎮火となった。全国史上9番目の大火となったが、この火災を教訓に島内消防力の強化と指揮権の一本化、効率的な運用が叫ばれ、消防組合設立への機運が本格化したものである。

4. 消防の沿革（組合）

昭和46年7月	小豆3町広域消防促進協議会を設置、会長に大森土庄町長、副会長に川北内海町長、佐々木池田町長を選出。 構成メンバー（3町町長、3町議長、3町総務課長、3町消防団長、土庄町消防本部消防長）
9月	広域消防整備計画案を決定、各町議会において、小豆地区消防組合規約が議決される。
10月	広域消防組合政令指定を希望する旨、消防庁に申請する。
11月	香川県知事より一部事務組合の発足について許可される。
12月	土庄町消防本部にて、小豆地区消防組合職員の採用試験が実施される。
昭和47年3月	小豆3町広域消防促進協議会を解散する。
4月	小豆地区消防組合発足、事務所を旧土庄町消防本部に置く。 消防職員16名採用、内海町より1名、池田町より1名、職員総数45名となる。
5月	消防職員1名、女性事務職員1名採用、職員総数47名となる。
6月	消防本部、消防署合同庁舎の建設工事に着手する。消防職員1名内海町へ、職員総数46名となる。
7月	消防署池田分署庁舎の建設工事に着手する。消防署内海分署へ消防本部より職員1名配置し、11名となる。
9月	消防署内海分署庁舎の建設工事に着手する。
10月	救急車（トヨタハイエース2B型）を購入し、消防署において救急業務を開始する。同時に救急要員6名を増員、消防署員数21名となる。
12月	消防ポンプ車（ニッサンFH60型）2台購入、消防署及び内海分署に配置する。
昭和48年1月	消防本部・消防署合同庁舎落成し、（土庄町甲557-4）移転する。 消防署池田分署庁舎落成し（池田町大字池田2099-4）業務を開始する。 分署署員数 2名 消防ポンプ車 1台
3月	消防署と内海分署に無線基地局を設置、移動局4基、携帯局4基とあわせて業務を開始する。 日本損害保険協会より土庄町が消防ポンプ車（トヨタFJ55V）の寄贈を受け小豆地区消防組合へ移管し消防署へ配置する。（旧ポンプ車は池田分署へ配置する。）消防職員1名退職、職員総数45名となる。
4月	「消防本部及び消防署を設置しなければならない町村」として政令指定を受け消防職員17名を採用、職員総数62名となる。池田分署へ3名増員し、分署署員5名となり、夜間は通信員1名常駐する。 内海分署庁舎落成し（内海町安田甲144-90）移転する。
5月	消防職員1名土庄町へ、職員総数61名となる。
7月	消防職員1名退職し、職員総数60名となる。
8月	内海分署へ2名増員し、分署署員数13名となる。

	消防職員1名退職し、職員総数59名となる。
昭和49年	9月 無線移動局3基、携帯局5基を増設し、消防署と各分署へ配置する。 11月 消防署へ消防救急指令装置（NEC、FD201型）を設置し、運用を開始する。 1月 池田分署へ6名増員し、分署署員数11名となり隔日勤務体制をとる。 3月 消防職員2名土庄町へ、1名内海町へ転出し、職員総数56名となる。 4月 消防職員6名採用、職員総数62名となる。 内海分署へ救急車（トヨタハイエース2B型）を配置するとともに6名を増員しポンプ車隊、救急車隊の2隊編成をとり分署署員数19名となる。池田分署へ2名増員し、分署署員数13名となる。 5月 内海分署において、救急業務を開始する。 7月 消防本部へ査察広報車（トヨタカローラバン）を配置する。旧車は池田分署へ配置する。 7月6日、台風8号による集中豪雨で内海町全域にわたり山津波が発生、橘地区を中心に死者29名、重軽傷者42名、家屋全半壊128戸を出す大惨事となる。 大雨警報、洪水注意報発令と同時に災害活動及び救出、救助活動にあたる。 8月 内海分署、消防ポンプ車老朽のため、消防ポンプ車（ニッサンFH60型）を購入配置する。
昭和50年	3月 消防職員2名退職し、職員総数60名となる。 無線移動局1基、携帯局5基を増設する。 4月 消防職員2名採用、職員総数62名となる。 6月 内海町より1名、職員総数63名となる。 7月 池田分署へ消防ポンプ車（ニッサンFH60型）を購入配置する。旧車は内海分署へ移管する。
昭和51年	9月 無線移動局2基、携帯局1基を増設する。小豆島防火協会が設立される。 11月 消防本部の事務機構を改革し、総務、予防、警防の3課制をとる。 3月 消防職員2名退職し、職員総数61名となる。 4月 消防職員3名採用、職員総数64名となる。 9月 防災工作車（トヨタハイエースWキャブ）を2台購入、内海分署、池田分署へ配置し、旧車は廃車する。 台風17号により、9月8日から9月13日までに小豆島全域にわたり、わずか6日間で年間降雨量を超える1,400ミリ（11日～12日で800ミリ）という記録的な豪雨となり、瞬時にして39名もの尊い生命を奪うという大惨事となった。 史上空前ともいわれる集中豪雨による大雨洪水警報発令と同時に全署員を動員し、警戒、防ぎよ、資材の運搬等にあたる。しかし、9月12日になり島内随所で被害が続出したため、消防職団員一致団結し、避難誘導、行方不明者の捜索、負傷者、遺体の搬送、給水作業等に延々12日間連続出動する。 延出動職員数 739名 延出動車両台数 75台
	被害の概要 死者 39名 重軽傷者 81名 被災世帯 2,665世帯 全壊家屋 209戸 半壊家屋 268戸 床上浸水 2,149戸 床下浸水 2,942戸
昭和52年	11月 消防職員1名退職、職員総数63名となる。無線移動局1基、携帯局3基を増設する。 1月 臨時事務職員1名採用。

	3月	無線携帯局3基を増設する。
	4月	消防職員1名池田町へ、職員総数62名となる。
	6月	消防職員1名内海町へ、職員総数61名となる。
昭和53年	4月	消防職員4名採用、土庄町より1名、職員総数66名となる。
	5月	土庄町大部琴塚に、無線の不感地区解消のため無線中継局を新設する。
	7月	異常渇水のため、全島において水不足となり、井戸、池等の水が減水、又水道断水、時間給水が続き、54年2月中旬から全面給水となった。
	8月	異常渇水対策として、日勤者を隊へ編入し、初動態勢の強化を図る。(10月中旬まで実施する。)内海分署へ2名増員し、分署署員数21名となる。
	9月	日本消防協会より、救急車(トヨタハイエース2B型)の寄贈を受け、本署へ配置する。
昭和54年	3月	内海町福田に無線の不感地区解消のため無線中継局を新設する。
	7月	小型動力ポンプ(ラビット可搬式)を購入し、内海分署へ配置する。
	10月	油火災用ユニット式ポンププロポーションナー1式を2基購入し、本署と内海分署へ配置する。
	11月	小豆地区少年婦人防火委員会が設立される。
	12月	土庄町内に原因不明の林野火災が続いたため、土庄町前島及び四海地区のパトロールを開始する。
昭和55年	3月	消防職員1名、臨時事務職員1名退職し、職員総数65名となる。
	4月	消防職員3名採用、職員総数68名となる。
	6月	小型動力ポンプ(ラビット可搬式)2台を購入し、本署と池田分署へ配置。
	8月	消防他3つの一部事務組合を統合して小豆地区広域行政事務組合が新たに発足、これに伴い小豆地区消防組合は解散。事務所を小豆島老人ホームに置く。小豆地区消防本部と改称し、事務職員1名小豆地区広域行政事務組合へ。職員総数67名となる。
	10月	油火災用ユニット式ポンププロポーションナー1式を購入し池田分署へ配置。
	11月	油火災用特殊防火衣を2着購入し、本署へ配置する。 日本自動車工業会より救急車(トヨタハイエース2B型)の寄贈を受け、内海分署へ配置する。旧救急2号車は本署へ配置し予備車とする。
昭和56年	4月	消防職員1名退職、消防職員1名採用、職員総数67名となる。
	9月	救助用器材(エアツールセット)1式を購入し、本署へ配置する。
昭和57年	3月	消防ポンプ車(いすゞCD-I)1台を購入し、本署へ配置する。 旧消防ポンプ1号車は林野工作車に改造して本署へ配置する。 日本損害保険協会より、救急車(日産キャラバンB-2)の寄贈を受け本署へ配置する。救急3号車は内海分署へ配置し救急予備車とする。
	4月	消防職員2名採用、職員総数69名となる。
	5月	救助用器材(エアツールセット)1式を購入し、内海分署へ配置する。
	6月	香川県共済農業協同組合連合会より救急車(トヨタハイエース2B型)の寄贈を受け、本署へ配置する。
	10月	消防職員1名小豆島老人ホームへ、職員総数68名となる。
昭和58年	8月	日本消防協会より、救助資器材搬送車(日産アトラス)の寄贈を受け本署へ配置する。
昭和59年	3月	消防署に設置の救急指令装置(D-201E)を更新する。 消防職員1名土庄町へ、消防職員1名退職、職員総数66名となる。
	4月	消防職員1名採用、職員総数67名となる。
	8月	救助用器材(エアツールセット)1式を購入し、池田分署へ配置する。
	11月	第8回婦人防火全国大会に於いて、日本防火協会より防火広報車(日産キャラバン)の寄贈を受ける。

昭和 60 年 7 月	小型ポンプ（ラビット可搬式）を購入し、本署へ配置する。				
9 月	日本損害保険協会より消防ポンプ車（日産サファリアー I）の寄贈を受け、内海分署へ配置する。旧車は内海町へ移管する。				
昭和 61 年 3 月	内海分署無線基地局老朽のため更新する。				
	消防職員 1 名退職、職員総数 66 名となる。				
4 月	消防職員 1 名採用、池田町より 1 名、職員総数 68 名となる。				
8 月	8 月 28 日、香川県下に強風波浪注意報発令中、土庄町豊島地区において交通事故（車両衝突）が発生、車両が炎上し強風にあおられて林野に延焼し、火面は急速に拡大する。土庄町長、消防長の陣頭指揮により隣接消防団、自衛隊等の応援を求め消防職団員一致協力し、9 月 4 日 17 時 128 ha を焼失し、鎮火する。				
	被害状況	焼損面積	128ha	損害額	7,550 万円
		死者	1 名	負傷者	7 名
	出動人員（延）			出動車両等（延）	
	小豆地区消防本部	275 名		消防ポンプ自動車	77 台
	土庄町消防団	1,772 名		小型動力ポンプ付積載車	72 台
	池田町消防団（応援）	228 名		その他の車両	61 台
	内海町消防団（応援）	294 名		偵察用ヘリコプター	3 機
	高松市消防局（応援）	213 名		空中消火用ヘリコプター	8 機
	神戸市消防局（応援）	5 名			
	陸上自衛隊（応援）	112 名			
	合計	2,899 名			
10 月	異常渇水のため、全島において水不足となり水道が時間給水のため住民への火災予防啓発と出動体制の強化を図る。（62 年 2 月まで）				
12 月	香川県消防相互応援協定締結 （香川県下 5 市、38 町、6 消防組合）				
昭和 62 年 2 月	消防ポンプ自動車（三菱 CD-I）を購入し、池田分署へ配置する。				
5 月	消防本部へ河川情報システムを設置し、運用を開始する。				
6 月	査察広報車（日産ブルーバード）を購入、本署へ配置する。				
昭和 63 年 4 月	消防職員 1 名採用、職員総数 69 名となる。				
8 月	日本消防協会より防災工作車（トヨタハイエース）の寄贈を受け本署へ配置する。				
11 月	消防本部へ管轄区域内の 119 番を統合し、運用を開始する。				
12 月	高圧ポンプ付消防ポンプ自動車（三菱 CD-I）を購入し、本署へ配置する。				
平成 元年 3 月	消防職員の高齢化対策として 2 名退職し、関係町で採用され、職員総数 67 名となる。				
4 月	消防職員 3 名採用、職員総数 70 名となる。				
5 月	消防職員 1 名管理者部局（小豆島老人ホーム）へ出向、職員総数 69 名となる。				
9 月	防災工作車を 2 台購入、内海分署（トヨタトヨエース W キャブ）、池田分署（トヨタダイナ W キャブ）へそれぞれ配置する。				
10 月	消防職員 1 名退職、職員総数 68 名となる。				
平成 2 年 2 月	香川県共済農業協同組合連合会より救急車（トヨタハイエース 2B 型）の寄贈を受け、内海分署へ配置し、旧車は廃車にする。				
3 月	消防本部庁舎に非常電源装置を設置する。				
	消防職員の高齢化対策として 1 名退職し、関係町で採用され、職員総数 67 名となる。				
4 月	消防職員 2 名採用、1 名退職し、職員総数 68 名となる。				

6月	救助用機材（リフトバック）1式を購入し、本署へ配置する。																																										
12月	指揮車（トヨタハイエースバン）を購入し、本署へ配置する。																																										
平成3年2月	本署の林野工作車（49年式日産FH60型）を廃車にする。																																										
3月	消防職員の高齢化対策として1名退職し、関係町で採用され、職員総数67名となる。																																										
4月	消防職員3名採用、1名管理者部局（小豆島老人ホーム）へ出向し、職員総数69名となる。																																										
8月	高圧ポンプ付消防ポンプ自動車（三菱CD-I）を購入し、内海分署へ配置する。																																										
平成4年3月	日本自動車工業会より救急車（日産キャラバン2B型）の寄贈を受け、本署へ配置し、1号救急車は内海分署へ移管する。消防職員の高齢化対策として1名退職し、関係町で採用され、職員総数68名となる。																																										
4月	消防職員2名採用、職員総数70名となる。																																										
平成5年3月	消防職員1名池田町へ、消防職員の高齢化対策として1名退職し、関係町で採用され、職員総数68名となる。																																										
4月	消防職員2名採用、1名管理者部局（小豆島老人ホーム）へ出向し、職員総数69名となる。																																										
10月	日本消防協会より救急車（いすゞファーゴ2B型）の寄贈を受け、内海分署へ配置する。																																										
12月	小型動力ポンプ付水槽車（三菱キャンター）を購入し、池田分署へ配置する。																																										
平成6年1月	香川県防災ヘリコプター派遣職員に関する協定締結（香川県） 香川県防災航空隊へ職員1名派遣。																																										
4月	消防職員2名採用、職員総数71名となる。 香川県防災ヘリコプター応援協定締結 （香川県、県下5市、38町、6消防組合）																																										
5月	エアーコンプレッサーを購入し、本署へ配置する。																																										
11月	はしご付消防自動車（森田式MLEH5-35R型）を購入し本署へ配置する。																																										
平成7年6月	消防職員1名逝去、職員総数70名となる。																																										
平成8年3月	基地局に県内共通波を設置する。																																										
4月	消防職員2名採用、1名管理者部局（小豆島老人ホーム）から小豆地区消防本部に出向、2名管理者部局（小豆島老人ホーム）へ出向し、職員総数71名となる。 4月9日、香川県に乾燥注意報が発令中、土庄町では異常湯水のため、16時間断水と厳しい水事情のなか、土庄町湊崎妹尾乙257番地より出火した山林火災は、急傾斜のため火面は急速に拡大し、管轄消防職員・団員はもとより隣接消防団、香川・大阪・広島・島根・京都の各消防防災ヘリ、自衛隊ヘリの応援を求め4月12日9時、47haを焼失し、鎮火する。																																										
	<table border="0"> <tr> <td style="text-align: center;">出動人員（延）</td> <td style="text-align: center;">出動車両等（延）</td> </tr> <tr> <td>小豆地区消防本部</td> <td>196名</td> <td>消防ポンプ自動車</td> <td>49台</td> </tr> <tr> <td>土庄町消防団</td> <td>1,172名</td> <td>小型動力ポンプ付積載車</td> <td>109台</td> </tr> <tr> <td>池田町消防団</td> <td>300名</td> <td>自衛隊車両</td> <td>33台</td> </tr> <tr> <td>内海町消防団</td> <td>350名</td> <td>その他の車両</td> <td>73台</td> </tr> <tr> <td>高松市消防局</td> <td>9名</td> <td>消防防災ヘリ</td> <td>7機</td> </tr> <tr> <td>香川県防災航空隊</td> <td>21名</td> <td>自衛隊ヘリ</td> <td>9機</td> </tr> <tr> <td>大阪市消防局航空隊</td> <td>5名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>広島市消防航空隊</td> <td>6名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>島根県防災航空隊</td> <td>16名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>京都市消防航空隊</td> <td>6名</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	出動人員（延）	出動車両等（延）	小豆地区消防本部	196名	消防ポンプ自動車	49台	土庄町消防団	1,172名	小型動力ポンプ付積載車	109台	池田町消防団	300名	自衛隊車両	33台	内海町消防団	350名	その他の車両	73台	高松市消防局	9名	消防防災ヘリ	7機	香川県防災航空隊	21名	自衛隊ヘリ	9機	大阪市消防局航空隊	5名			広島市消防航空隊	6名			島根県防災航空隊	16名			京都市消防航空隊	6名		
出動人員（延）	出動車両等（延）																																										
小豆地区消防本部	196名	消防ポンプ自動車	49台																																								
土庄町消防団	1,172名	小型動力ポンプ付積載車	109台																																								
池田町消防団	300名	自衛隊車両	33台																																								
内海町消防団	350名	その他の車両	73台																																								
高松市消防局	9名	消防防災ヘリ	7機																																								
香川県防災航空隊	21名	自衛隊ヘリ	9機																																								
大阪市消防局航空隊	5名																																										
広島市消防航空隊	6名																																										
島根県防災航空隊	16名																																										
京都市消防航空隊	6名																																										

	陸上自衛隊	161名		
	合計	2,242名		
平成9年3月	日本消防協会から救急車（日産キャラバン2B型）の寄贈を受け、内海分署へ配置する。			
4月	香川県防災航空隊へ職員1名交替派遣。			
10月	高規格救急車（トヨタグランビア）を購入し、本署へ配置する。			
平成10年10月	日本損害保険協会より水槽付ポンプ自動車（三菱ファイター）の寄贈を受け本署へ配置する。			
平成11年2月	携帯電話等からの119番通報転送等に関する協定締結。 （高松市消防局、大川広域消防本部、讃岐広域消防本部）			
	携帯電話119番転送システムを設置する。			
	2月14日、土庄町湊崎字東丸山甲1665番地3より出火した山林火災は、急斜面の地形により延焼拡大し3日間燃え続け、消防職員・3町消防団の消火活動に加え、香川・高知・愛媛・兵庫・広島・鳥取の各消防防災ヘリ、自衛隊ヘリの応援により、13haを焼失し、16日8時40分鎮火する。			
	出動人員（延）		出動車両（延）	
	小豆地区消防本部	145名	消防ポンプ自動車	35台
	土庄町消防団	717名	小型動力ポンプ付積載車	87台
	池田町消防団	110名	自衛隊車両	6台
	内海町消防団	100名	その他の車両	25台
	香川県防災航空隊	9名	消防防災ヘリ	8機
	高知県消防防災航空隊	16名	自衛隊ヘリ	8機
	愛媛県消防防災航空隊	13名		
	兵庫県消防防災航空隊	14名		
	広島県防災航空隊	6名		
	鳥取県消防防災航空隊	7名		
	陸上自衛隊	121名		
	土庄警察署	55名		
	土庄町職員	24名		
	合計	1,337名		
平成12年4月	香川県防災航空隊へ職員1名交替派遣。			
平成12年3月	消防本部2階へ通信指令室を設け、消防緊急通信指令システムを更新整備する。			
平成12年10月	小豆島防火協会より防火広報車（軽四輪）の寄贈を受け、本署へ配置する。			
平成13年3月	消防職員1名退職。職員総数70名となる。			
平成13年4月	消防職員1名採用。職員総数71名となる。			
平成14年1月	消防職員1名退職。職員総数70名となる。			
平成14年3月	消防職員1名退職、職員総数69名となる。			
平成14年4月	消防職員2名採用、職員総数71名となる。			
平成15年3月	香川県防災航空隊へ職員1名交替派遣。 消防職員1名退職、職員総数70名となる。			
	日本損害保険協会より、高規格救急車（トヨタハイメディック）の寄贈を受け、内海分署へ配置する。			
平成15年4月	消防職員3名採用、職員総数73名となる。			
平成15年10月	消防職員1名逝去、職員総数72名となる。			
平成16年3月	消防職員1名退職、職員総数71名となる。			
	救助工作車（日野レンジャープロ）を購入し、本署へ配置する。			
平成16年8月	台風16号による高潮被害。			
	内海町 床上浸水	176戸	床下浸水	350戸

	土庄町 床上浸水 523 戸 床下浸水 523 戸
	池田町 床上浸水 49 戸 床下浸水 160 戸
	合計 床上浸水 748 戸 床下浸水 1,033 戸
平成 17 年 3 月	消防職員 1 名退職、職員総数 70 名となる。 消防ポンプ自動車（日野 CD-1）を購入し、内海分署へ配置する。
4 月	消防職員 1 名採用、職員総数 71 名となる。 香川県防災航空隊へ職員 1 名交替派遣。
平成 18 年 3 月	内海町、池田町（2 町）が合併し、小豆島町となる。 消防職員 5 名退職（勸奨）、職員総数 66 名となる。 消防ポンプ自動車（三菱 CD-1）を購入し、池田分署へ配置する。
4 月	消防職員 5 名採用、職員総数 71 名となる。
8 月	消防職員 1 名退職、職員総数 70 名となる。
平成 19 年 3 月	消防職員 1 名退職（勸奨）、職員総数 69 名となる。
4 月	消防職員 2 名採用、職員総数 71 名となる。
平成 20 年 1 月	高規格救急車（トヨタハイメディック）を購入し、本署へ配置する。
3 月	消防職員 5 名退職（内 3 名勸奨）、職員総数 66 名となる。
4 月	消防職員 3 名採用、職員総数 69 名となる。 香川県防災航空隊へ職員 1 名交替派遣。
平成 21 年 3 月	消防職員 7 名退職（内 4 名勸奨）、職員総数 62 名となる。
4 月	消防職員 7 名採用、職員総数 69 名となる。
12 月	日本損害保険協会より、高規格救急車（トヨタハイメディック）の寄贈を受け内海分署へ配置する。
平成 22 年 3 月	消防職員 2 名退職（勸奨）、職員総数 67 名となる。
4 月	消防職員 2 名採用、職員総数 69 名となる。
平成 23 年 3 月	消防職員 3 名退職（内 2 名勸奨）、職員総数 66 名となる。
4 月	消防職員 3 名採用、職員総数 69 名となる。 香川県防災航空隊へ職員 1 名交替派遣。
平成 24 年 2 月	消防ポンプ自動車（日野 CD-1）を購入し、本署へ配置する。
3 月	消防職員 3 名退職、職員総数 66 名となる。
4 月	消防職員 3 名採用、職員総数 69 名となる。
12 月	指揮車（トヨタヴォクシー）を購入し本部へ配置する。
平成 25 年 3 月	消防職員 6 名退職（内 3 名勸奨）、職員総数 63 名となる。
4 月	消防職員 6 名採用、職員総数 69 名となる。
平成 26 年 2 月	消防ポンプ自動車（日野 CD-1）を購入し、内海分署へ配置する。
3 月	消防職員 1 名退職（勸奨）、職員総数 68 名となる。
4 月	消防職員 1 名採用、職員総数 69 名となる。 香川県防災航空隊へ職員 1 名交替派遣。
8 月	消防救急デジタル無線及び消防指令センター整備工事に着手する。
9 月	小豆地区消防本部兼小豆島西消防署、小豆島東消防署の建設工事に着手する。
12 月	高規格救急車（トヨタハイメディック）を購入し、本署へ配置する。
平成 27 年 3 月	消防職員 2 名退職、職員総数 67 名となる。
4 月	消防職員 2 名採用、職員総数 69 名となる。
10 月	小豆島防火安全協会より防火広報車（軽四輪）の寄贈を受け、本署へ配置する。
平成 28 年 3 月	小豆地区消防本部兼小豆島西消防署、小豆島東消防署落成する。 消防救急デジタル無線及び消防指令センター落成する。 池田分署の業務を終了する。
4 月	消防職員 1 名退職、職員総数 68 名となる。 組織改編に伴い 2 署体制へ移行、業務を開始する。

	消防職員1名採用、職員総数69名となる。
7月	消防職員1名退職、職員総数68名となる。
8月	査察広報車(軽四輪)を購入し、東署へ配置する。
12月	池田港飛行場外離着陸場の整備工事に着手する。
平成29年3月	池田港飛行場外離着陸場竣工する。
	消防職員1名退職、職員総数67名となる。
4月	消防職員3名採用、再任用1名、職員総数71名となる。
	香川県防災航空隊へ職員1名交替派遣。
12月	小型動力ポンプ付水槽車(日野デュトロ)を購入し、西署へ配置する。
平成30年2月	消防職員2名退職、職員総数69名となる。
3月	消防職員1名退職、再任用1名退職、職員総数67名となる。
4月	消防職員1名採用、職員総数68名となる。
10月	先端屈折式はしご車(MLLAH5-30WG)を購入し、西署へ配置する。
平成31年3月	大規模災害時における消防用水等に関する協定締結(県下9消防本部、香川県生コンクリート協同組合連合会)
4月	消防職員3名採用、1名管理者部局(広域事務局)へ部局内異動、職員総数70名となる。

5. 主たる総務行事（平成30年）

1月25日	全国消防長会四国支部法制執務研修会	(徳島市)
1月26日	香川県消防長会主管課長会議	(高松市)
1月30日～31日	小豆地区広域行政事務組合議員視察研修	(奈良県、大阪府)
2月6日～7日	香川県消防協会消防団長等研修	(兵庫県、鳥取県)
2月14日	消防団長等幹部研修会	(高松市)
2月16日	臨時香川県消防長会議	(高松市)
3月7日	自治体消防制度70周年記念式典	(東京都)
3月12日	小豆地区広域行政事務組合議会定例会	
4月6日	消防職員第65期初任教育入校式	(高松市)
4月13日	第1回香川県消防長会議	(多度津町)
4月17日	香川県防災航空隊への職員派遣に係る主管課長会議	(高松市)
4月22日	小豆地区消防連合会定期総会及び表彰式	
4月26日	全国消防長会四国支部消防職員意見発表会及び総会	(阿南市)
5月10日	第96回全国消防長会技術委員会	(鎌倉市)
5月16日	小豆地区広域行政事務組合議会臨時会	
5月30日	消防功労者定例表彰式	(高松市)
5月31日	第70回全国消防長会総会及び第30回アジア消防長協会総会	(東京都)
6月6日	香川県消防協会定時評議員会	(高松市)
6月19日	安全運転管理者講習	
6月21日	小豆安全運転管理者協議会総会	
6月30日	男女共同参画推進講演会	
7月9日	香川県消防学校教育推進協議会（第1回）	(高松市)
7月13日	香川県消防長会主管課長会議	(高松市)
8月9日	小豆郡医療懇談会	
8月22日	香川県防災航空隊への職員派遣に係る主管課長会議	(高松市)
8月28日	小豆地区消防本部消防職員委員会	
9月11日	全国労働衛生週間説明会	
9月15日	初任教育生訓練発表会	(高松市)
9月25日	消防職員委員会の組織及び運営の基準改正等に係る全国説明会	(高知市)
9月28日	消防職員第65期初任教育卒業式	(高松市)
	小豆地区広域行政事務組合議会定例会	
10月5日	県下消防署長会議	(高松市)
10月26日	香川県消防学校教育推進協議会（第2回）	(高松市)
11月2日	第2回香川県消防長会議及び香川県消防職員意見発表会	(観音寺市)
11月16日	警察消防殉職者協力殉難者合同慰霊祭	(高松市)
11月21日	全国消防長会四国支部消防長研修会	(徳島市)
12月7日	小豆地区広域行政事務組合議会定例会	

6. 歴代管理者

平成 31 年 4 月 1 日現在

年 代	氏 名	期 間	勤 務 年 数
初 代	川 北 四 十 二	自 昭 4 7. 4. 1 至 昭 5 3. 3. 3 1	6 年 0 月
二 代	山 脇 利 一	自 昭 5 3. 4. 1 至 昭 5 5. 7. 3 1	2 年 4 月
一部事務組合を統合、新たに小豆地区広域行政事務組合発足			
三 代	川 北 四 十 二	自 昭 5 5. 8. 1 至 昭 5 6. 2. 1 1	0 年 6 月
四 代	山 脇 利 一	自 昭 5 6. 2. 1 2 至 昭 5 8. 3. 3 1	2 年 1 月
五 代	佐々木 武 雄	自 昭 5 8. 4. 1 至 昭 5 9. 4. 1 8	1 年 0 月
六 代	八 木 壮 一 郎	自 昭 5 9. 4. 1 9 至 昭 6 0. 3. 3 1	1 年 0 月
七 代	川 西 寿 一	自 昭 6 0. 4. 1 至 昭 6 2. 3. 3 1	2 年 0 月
八 代	山 脇 利 一	自 昭 6 2. 4. 1 至 平 元. 3. 3 1	2 年 0 月
九 代	八 木 壮 一 郎	自 平 元. 4. 1 至 平 3. 3. 3 1	2 年 0 月
十 代	川 西 寿 一	自 平 3. 4. 1 至 平 5. 3. 3 1	2 年 0 月
十一代	塩 本 淳 平	自 平 5. 4. 1 至 平 7. 3. 3 1	2 年 0 月
十二代	八 木 壮 一 郎	自 平 7. 4. 1 至 平 9. 3. 3 1	2 年 0 月
十三代	川 西 寿 一	自 平 9. 4. 1 至 平 9. 5. 4	年 1 月
十四代	坂 下 一 朗	自 平 9. 5. 5 至 平 1 1. 3. 3 1	1 年 1 1 月
十五代	塩 本 淳 平	自 平 1 1. 4. 1 至 平 1 3. 3. 3 1	2 年 0 月
十六代	八 木 壮 一 郎	自 平 1 3. 4. 1 至 平 1 5. 3. 3 1	2 年 0 月
十七代	坂 下 一 朗	自 平 1 5. 4. 1 至 平 1 7. 3. 3 1	2 年 0 月
十八代	三 木 佑 二 郎	自 平 1 7. 4. 1 至 平 1 8. 1. 2 1	0 年 9 月
十九代	岡 田 好 平	自 平 1 8. 1. 2 2 至 平 1 9. 3. 3 1	1 年 3 月
二十代	坂 下 一 朗	自 平 1 9. 4. 1 至 平 2 1. 3. 3 1	2 年 0 月

二十一代	岡田好平	自平21.4.1 至平23.3.31	2年	0月
二十二代	塩田幸雄	自平23.4.1 至平25.3.31	2年	0月
二十三代	岡田好平	自平25.4.1 至平26.1.21	0年	9月
二十四代	三枝邦彦	自平26.1.22 至平27.3.31	1年	3月
二十五代	塩田幸雄	自平27.4.1 至平29.3.31	2年	0月
二十六代	三枝邦彦	自平29.4.1 至平31.3.31	2年	0月
二十七代	松本篤	自平31.4.1 至現 在	0年	0月

7. 歴代消防長

平成31年4月1日現在

年 代	氏 名	期 間	勤 務 年 数	
初 代	清 水 勝	自昭47.4.1 至昭50.3.31	3年	0月
二 代	坂 本 傳	自昭50.6.1 至昭52.5.31	2年	0月
三 代	(消防長事務取扱) 川 北 四 十 二	自昭52.6.1 至昭53.3.31	年	10月
四 代	洲 本 勝	(消防長職務代理) 自昭53.4.1 至昭55.3.31		
		自昭55.4.1 至昭59.3.31	4年	0月
五 代	谷 元 哲 彦	自昭59.4.1 至昭61.3.31	2年	0月
六 代	(消防長事務取扱) 八 木 壯 一 郎	自昭61.4.1 至昭63.3.31	2年	0月
七 代	大 谷 隆 生	自昭63.4.1 至平 5.3.31	5年	0月
八 代	中 黒 輝 雄	自平 5.4.1 至平 7.6.6	2年	2月
九 代	前 田 忠	自平 7.7.1 至平15.3.31	7年	9月

十代	(消防長事務取扱) 三木 佑二郎	自 平15. 4. 1 至 平17. 3. 31	2年	0月
十一代	佐渡 達夫	自 平17. 4. 1 至 平20. 3. 31	3年	0月
十二代	浜岡 成俊	自 平20. 4. 1 至 平21. 3. 31	1年	0月
十三代	(消防長事務取扱) 坂下 一朗	自 平21. 4. 1 至 平22. 4. 22	1年	1月
十四代	(消防長事務取扱) 岡田 好平	自 平22. 4. 23 至 平23. 3. 31		11月
十五代	真砂 清	自 平23. 4. 1 至 平25. 3. 31	2年	0月
十六代	石塚 昭義	自 平25. 4. 1 至 平29. 3. 31	4年	0月
十七代	上濱 一弥	自 平29. 4. 1 至 平30. 3. 31	1年	0月
十八代	須佐美 高広	自 平30. 4. 1 至 現 在	1年	0月

8. 歴代消防署長

平成31年4月1日現在

年代	氏名	期間	勤務年数	
初代	清水 勝	自 昭47. 4. 1 至 昭49. 3. 31	2年	0月
二代	役重 正則	自 昭49. 4. 1 至 昭56. 4. 14	7年	1月
三代	谷元 哲彦	自 昭56. 5. 1 至 昭61. 3. 31	4年	11月
四代	中黒 輝雄	自 昭61. 4. 1 至 平5. 3. 31	7年	0月
五代	前田 忠	自 平5. 4. 1 至 平8. 3. 31	3年	0月
六代	木村 敏夫	自 平8. 4. 1 至 平14. 3. 1	6年	0月
七代	森 三郎	自 平14. 4. 1 至 平15. 11. 30	1年	8月
八代	佐渡 達夫	自 平15. 12. 1 至 平16. 3. 31		4月
九代	浜岡 成俊	自 平16. 4. 1 至 平17. 3. 31	1年	0月
十代	中川 博行	自 平17. 4. 1 至 平20. 3. 31	3年	0月
十一代	森川 誠三	自 平20. 4. 1 至 平21. 3. 31	1年	0月

十二代	真 砂 清	自 平21. 4. 1 至 平23. 3. 31	2年	0月
十三代	浜 脇 繁 美	自 平23. 4. 1 至 平24. 3. 31	1年	0月
十四代	石 塚 昭 義	自 平24. 4. 1 至 平25. 3. 31	1年	0月
十五代	須 佐 美 高 広	自 平25. 4. 1 至 平28. 3. 31	3年	0月

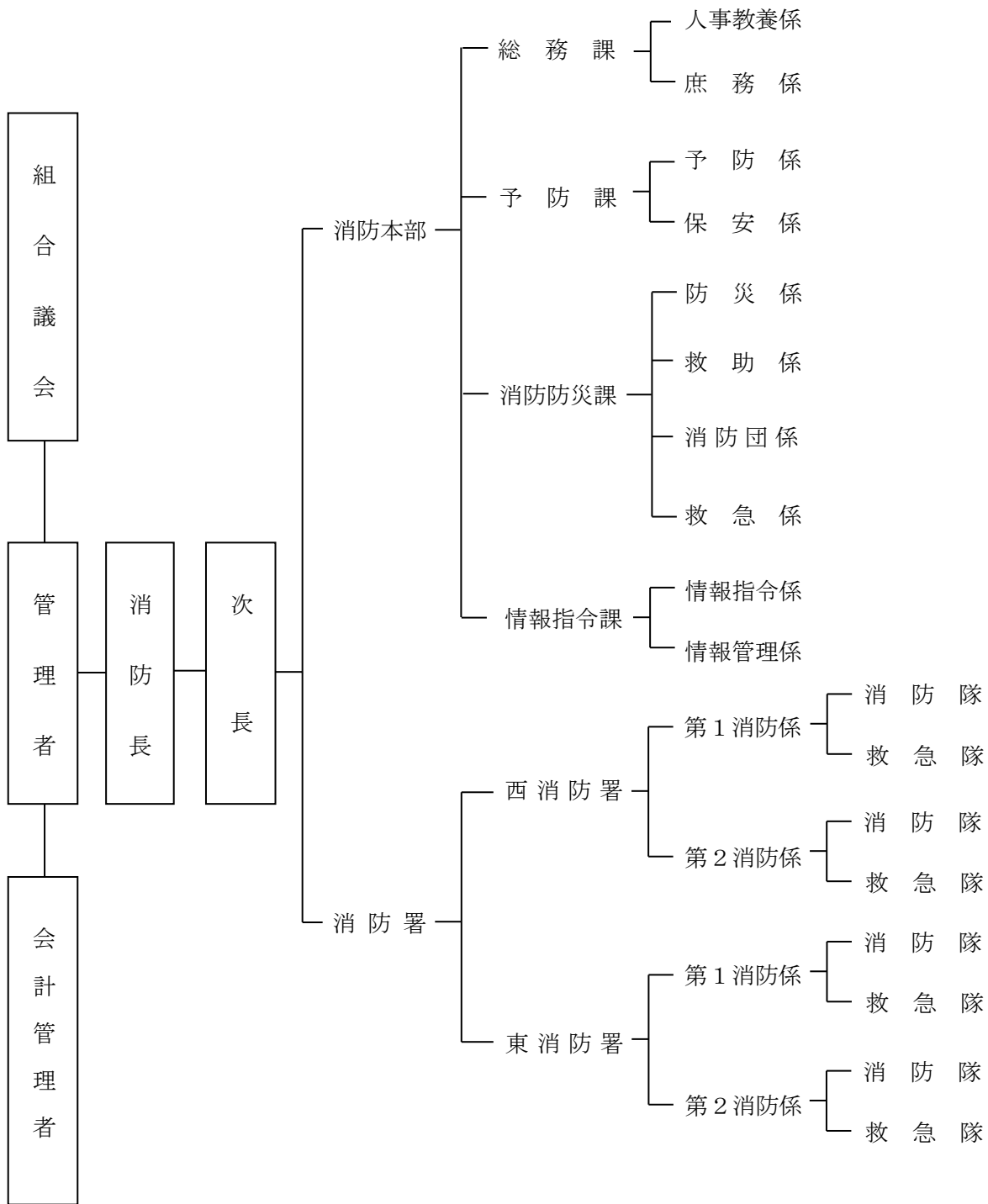
歴代西消防署長

年 代	氏 名	期 間	勤 務 年 数	
初 代	須 佐 美 高 広	自 平28. 4. 1 至 平30. 3. 31	2年	0月
二 代	青 地 薫	自 平30. 4. 1 至 現 在	1年	0月

歴代東消防署長

年 代	氏 名	期 間	勤 務 年 数	
初 代	木 下 昌 樹	自 平28. 4. 1 至 平31. 3. 31	3年	0月
二 代	炭 野 義 一	自 平31. 4. 1 至 現 在		0月

9. 消防の組織・機構



10. 事務分掌

総務課

人事教養係

- (1) 職員の任用、服務及び賞罰に関する事項
- (2) 職員の給与に関する事項
- (3) 職員の公務災害補償に関する事項
- (4) 職員の研修及び能率増進に関する事項
- (5) 行政不服審査及び訴訟に関する事項
- (6) 消防長の秘書及び儀式用務に関する事項
- (7) 消防協力者等の災害補償及び表彰に関する事項

庶務係

- (1) 公文書の收受及び発送に関する事項
- (2) 完結文書の整理保管に関する事項
- (3) 公印の保管に関する事項
- (4) 規程等の審査に関する事項
- (5) 消防年報に関する事項
- (6) 財産の管理に関する事項
- (7) 消防職員委員会に関する事項
- (8) 各課の総合調整に関する事項
- (9) 他課、係の所管に属さない事項

予防課

予防係

- (1) 火災予防の指導に関する事項
- (2) 建築確認等の同意に関する事項
- (3) 防火対象物の消防計画の作成及び訓練の指導に関する事項
- (4) 消防用設備等の設置に関する事項
- (5) 防火対象物の違反処理に関する事項
- (6) 火災の原因及び損害の調査・報告に関する事項
- (7) 火気使用設備等の指導に関する事項
- (8) 消防広報及び広聴に関する事項
- (9) 自主防火・防災組織の育成指導に関する事項
- (10) 防火管理者の育成指導に関する事項
- (11) 防火対象物定期点検報告制度に関する事項
- (12) 前各号のほか、予防業務に関する事項

保安係

- (1) 危険物製造所等の許可及び検査に関する事項
- (2) 危険物製造所等の指導取締りに関する事項
- (3) 液化石油ガス設備工事届等に関する事項
- (4) その他危険物関係の指導に関する事項

消 防 防 災 課

防 災 係

- (1) 防災計画に関する事項
- (2) 防災対策に関する事項
- (3) 防災演習に関する事項
- (4) 消防機材の配置及び管理に関する事項
- (5) 各町の地域防災計画に関する事項
- (6) 消防水利に関する事項
- (7) 災害報告に関する事項
- (8) 前各号のほか、防災業務に関する事項

救 助 係

- (1) 救助計画に関する事項
- (2) 前号のほか、救助業務に関する事項

消 防 団 係

- (1) 消防団計画に関する事項
- (2) 前号のほか、消防団業務に関する事項

救 急 係

- (1) 救急計画に関する事項
- (2) 救急運用に関する事項
- (3) 救急資機材の配置及び管理に関する事項
- (4) 救急、救助年報に関する事項
- (5) 前各号のほか、救急業務に関する事項

情 報 指 令 課

情報指令係

- (1) 通信指令に関する事項
- (2) 前号のほか、情報指令に関する事項

情報管理係

- (1) 個人情報の管理に関する事項
- (2) 前号のほか、情報管理に関する事項

1 1. 管内面積及び人口・世帯数

平成 31 年 4 月 1 日現在

区 分 町 別	面 積 (km ²)	人 口			世 帯 数 (世帯)
		男 (人)	女 (人)	計 (人)	
土 庄 町	74.37	6,507	7,359	13,866	6,702
小 豆 島 町	95.59	6,987	7,640	14,627	6,978
合 計	169.96	13,494	14,999	28,493	13,680

(住民基本台帳による)

1 2. 消防庁舎の現状

区分 署所別	所在地	構造	建築延面積	竣工年月日
消防本部 兼西消防署	香川県小豆郡土庄町 甲 557 番地 10	鉄筋コンクリート 4 階 建	2,482.3 m ²	H27.12.28
東消防署	香川県小豆郡小豆島町安田 甲 144 番地 90	鉄筋コンクリート 4 階 建	951.9 m ²	H27.12.28

1 3. 職員の勤務年数

平成 31 年 4 月 1 日現在

階級別 年数	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
1 年 未 満						3	3
1 年 ~ 2 年未満						1	1
2 年 ~ 3 年未満						3	3
3 年 ~ 4 年未満						1	1
4 年 ~ 5 年未満						2	2
5 年 ~ 10 年未満					8	6	14
10 年 ~ 15 年未満				11	5		16
15 年 ~ 20 年未満				5			5
20 年 ~ 25 年未満			2				2
25 年 ~ 30 年未満		1	9				10
30 年 以 上	1	10	2				13
合 計	1	11	13	16	13	16	70
平 均	41.0	35.4	26.8	13.3	8.5	3.4	16.5

14. 職員の年齢

平成31年4月1日現在

階級別 年数	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
18才～20才						2	2
21才～25才						11	11
26才～30才					11	3	14
31才～35才				11	2		13
36才～40才				5			5
41才～45才			5				5
46才～50才			8				8
51才～55才		7					7
56才～60才	1	4					5
合計	1	11	13	16	13	16	70
平均年齢	59.0	54.5	45.7	34.8	29.6	23.7	36.7

15. 職員の配置状況

平成31年4月1日現在

階級別 署所別	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
消防本部	1	8	8	10	6	8	41
西消防署		(4)	(8)	(10)	(5)	(5)	(32)
東消防署		3	5	5	7	8	28
県防災航空隊				1			1
合計	1	11	13	16	13	16	70

(※ () 内は兼務)

16. 消防力の現勢

平成31年4月1日現在

署所・人員

	現 有 数
署 所 数	2
指 揮 隊 員	5
消 防 隊 員	32
救 急 隊 員	20
救 助 隊 員	0 (兼務22)
通 信 要 員	5
予 防 要 員	1 (兼務17)
庶務処理等の要員	7

車両

	現 有 数	
消 防 ポ ン プ 自 動 車	4	
は し ご 自 動 車	1	
救助工作車 (省令第4条)	1	
高 規 格 救 急 車	4	
特 殊 車 等	指 揮 車	1
	査 察 広 報 車	2
	小型ポンプ付水槽車	1
	そ の 他 の 車 両	3

	基 準 数	現 有 数	充 足 率
消 防 水 利	898	451	50.2

17. 消防職員・消防車等に対する人口及び世帯数の割合

平成31年4月1日現在

区 分	人 口 (人)	世 帯 数 (世帯)	面 積 (k㎡)
消 防 職 員 1 人 当 り	407	195	2.43
消 防 ポ ン プ 自 動 車 1 台 当 り	7,123	3,420	42.49
救 急 車 1 台 当 り	7,123	3,420	42.49
署 1 ケ 所 当 り	14,247	6,840	84.98

18. 消防予算

(1) 歳入

(単位：千円)

区 分	平成30年度予算額	平成31年度予算額
1. 分担金及び負担金	873,075	708,835
2. 使用料及び手数料	100	100
3. 国庫支出金	49,865	0
4. 県支出金	0	0
5. 財産収入	0	0
6. 寄付金	0	0
7. 繰越金	0	0
8. 諸収入	0	0
9. 組合債	0	0
合 計	923,040	708,935

(2) 歳出

(単位：千円)

区 分	平成30年度予算額	平成31年度予算額
1. 総務費	535,513	533,692
2. 予防費	1,137	1,089
3. 警防費	6,188	7,088
4. 救急費	5,595	7,726
5. 通信費	19,627	19,622
6. 施設費	225,374	13,283
7. 公債費	129,606	126,435
合 計	923,040	708,935

19. 平成31年度町別一般会計予算と消防予算

(単位：千円)

区 分	土庄町	小豆島町	合 計
一般会計予算額	8,995,000	9,754,000	18,749,000
消防費予算額	389,028	433,034	822,062
常備消防費	313,891	394,944	708,835
非常備消防費	64,028	31,821	95,849
消防施設費	0	4,877	4,877
水防費	998	1,389	2,387
災害対策費	10,111	3	10,114
一般会計と消防費の比(%)	4.3	4.4	4.4
住民1人当りの消防費用(円)	28,056	29,605	28,851
一世帯当たりの消防費用(円)	58,047	62,057	60,092

20. 消防費基準財政需要額及び町負担金(予算額)

(単位：千円)

町別	平成30年度 消防費基準財政需要額	平成31年度 町負担金
土庄町	249,357	389,028
小豆島町	311,360	394,944
合 計	560,717	783,972

2 1. 職員特殊技能資格取得状況

平成 31 年 4 月 1 日現在

種 別		階 級 別		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
		大 型	中 型 (1 1 t 未 満)							
自 動 車 運 転 免 許	大 型	1	4	7	1 4	9	5	4 0		
	中 型 (1 1 t 未 満)					1		1		
	中 型 (8 t 限 定)		7	6	2	3	0	1 8		
	準 中 型 (7.5 t 未 満)						3	3		
	準 中 型 (5 t 限 定)						6	6		
	普 通									
クレーン・玉掛け・巻き上げ機 (クレーン・玉掛け)			(3)	5 (2)	7	2		1 4 (5)		
消防用設備点検資格者 第 1 種・第 2 種				1				1		
消防設備士許 免			1	4	5	5	2	1 7		
危険物取扱者許 免			1	6	1 4	1 2	6	3 9		
予防技術検定			1	4	3	6	3	1 7		
第二級陸上特殊 無線技士			6	1 0	9	1		2 6		
第三級陸上特殊 無線技士		1	1	1				3		
第四級アマチュア 無線技士		1						1		
小型船舶操縦士 2 級 縦 免		1	6	7	5	2	1	2 2		
救急救命士		1	4	5	5	1	5	2 1		
応急手当 指導員		1	9	1 2	1 5	7	6	5 0		
石油機器技術管理士			1	1				2		
第 II 種酸素欠乏 危険作業主任者			2	8	1 2	6	1	2 9		
潜水士			2	3	6	1		1 2		
特定化学物質等 作業主任者		1		2				3		

2.2. 職員教養状況調

平成31年4月1日現在

区 分		階 級 別	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
		消 防 大 学 校	上 級 幹 部 科			1			
幹 部 科	1			2					3
警 防 科									
予 防 科					1				1
救 急 科									
救 助 科					1				1
香 川 県 消 防 学 校	初 任 教 育	1	11	13	16	13	16		70
	初 級 幹 部 科			1	3	1			5
	中 級 幹 部 科	1		2	1				4
	上 級 幹 部 科			2					2
	予 防 査 察 科			7	2	3	3		15
	危 険 物 科				3	2	1		6
	火 災 調 査 科	1		2	5	3	2		13
	特 殊 災 害 科			3	3	3			9
	警 防 科				6	5	1		12
	救 急 科			7	13	16	9	4	49
	救 助 科	1		2	7	12	7	1	30
そ の 他	救 急 救 命 士	1		4	5	5	1	5	21

2.3. 職員居住地調

平成31年4月1日現在

区 分		階 級 別	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
		土 庄 町			4	7	11	8	6
小 豆 島 町	1		7	6	5	5	10	34	
合 計	1		11	13	16	13	16	70	

2.4. 職員任用退職状況調

平成31年4月1日現在

年度	区分	新任	退職	転入出		職員総数
				入	出	
平成元年		3	2			70
平成2年		2	2		1	69
平成3年		3	2		1	69
平成4年		2	1			70
平成5年		2	2		1	69
平成6年		2				71
平成7年						71
平成8年		2	1	1	2	71
平成9年						71
平成10年						71
平成11年						71
平成12年						71
平成13年		1	1			71
平成14年		2	2			71
平成15年		3	1			73
平成16年			2			71
平成17年		1	1			71
平成18年		5	5			71
平成19年		2	2			71
平成20年		3	5			69
平成21年		7	7			69
平成22年		2	2			69
平成23年		3	3			69
平成24年		3	3			69
平成25年		6	6			69
平成26年		1	1			69
平成27年		2	2			69
平成28年		1	1			69
平成29年		3	2	1(再任用)		71
平成30年		1	3		1(再任用)	68
平成31年		3	0		1(部局内異動)	70

25. 職員の推移平成

平成31年4月1日現在

階級別 年度別	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	再 任 用	合 計
平成 2 年	1	1	5	7	36	11	8		69
平成 3 年	1	2	4	10	31	12	9		69
平成 4 年	1	2	4	14	28	10	11		70
平成 5 年	1	2	3	18	26	9	10		69
平成 6 年	1	2	3	18	26	9	12		71
平成 7 年	1	2	4	19	26	8	11		71
平成 8 年	1	4	3	17	25	11	10		71
平成 9 年	1	4	3	22	22	11	8		71
平成10年	1	4	3	27	18	13	5		71
平成11年	1	4	3	28	19	12	4		71
平成12年	1	5	4	30	16	12	3		71
平成13年	1	4	4	32	15	12	3		71
平成14年	1	3	5	32	15	11	4		71
平成15年		3	9	29	15	12	5		73
平成16年		2	9	29	17	9	5		71
平成17年	1	2	8	30	16	8	6		71
平成18年	1	5	3	29	17	5	11		71
平成19年	1	5	6	27	15	6	11		71
平成20年	1	3	7	25	14	7	12		69
平成21年		2	5	23	14	6	19		69
平成22年		2	9	21	10	7	20		69
平成23年		1	13	15	12	6	22		69
平成24年		1	13	15	11	9	20		69
平成25年		1	7	15	11	10	25		69
平成26年		1	8	14	12	9	25		69
平成27年		1	9	14	9	14	22		69
平成28年		1	8	16	8	19	17		69
平成29年		1	9	15	9	18	18	1	71
平成30年		1	9	14	13	17	14		68
平成31年		1	11	13	16	13	16		70

予 防



1. 主たる予防行事（平成30年）

- 1月22日～26日 重要文化財の予防査察
- 3月1日～7日 春季全国火災予防運動
- 5月～9月 防火対象物定期点検報告制度に基づく立入検査
- 5月15日 平成30年度小豆島防火安全協会役員会
- 6月3日～9日 危険物安全週間
- 6月6日 平成30年度香川県危険物安全大会 (高松市)
- 6月14日 平成30年度小豆島防火安全協会定時総会
- 6月29日 平成30年度小豆地区婦人防火クラブ連絡協議会総会
平成30年度小豆地区少年婦人防火委員会
- 8月3日 危険物取扱者保安講習
- 8月21日 少年消防クラブ視察研修 (高松市)
- 8月30日 香川県建築部局との建築物防災週間に係る合同立入検査
- 9月13日 防火安全協会視察研修 (淡路市)
- 9月21日 平成30年度県下予防事務担当者会議 (東かがわ市)
- 11月9日～15日 秋季全国火災予防運動
- 11月9日 香川県建築部局との社会福祉施設等に係る合同立入検査
- 11月13日～21日 移動タンク貯蔵所立入検査
- 11月20日 移動タンク貯蔵所路上検査

2. 「防火優良認定証」交付対象物状況

平成31年4月1日現在

区分 用途	定期点検報告制度 対象物数	防火優良認定証 交付対象物数	交付率 (%)
旅館・ホテル等	31	24	77.4

3. 自主防災組織の現況

令和元年6月1日現在

- 小豆島防火安全協会（会員数271事業所）
- 小豆地区少年婦人防火委員会 ———— 各地区少年消防クラブ
- 小豆地区婦人防火クラブ連絡協議会 ———— 各地区婦人防火（消防）クラブ
- 小豆地区婦人防火クラブ連絡協議会 ———— 各地区婦人防火（消防）クラブ

少年消防クラブ（ 5クラブ 195名 ）

令和元年6月1日現在

クラブの名称	結成年月日	クラブ員数	組織単位	行政区
安田少年消防クラブ	昭和26年12月8日	97名	地区	小豆島町
坂手	昭和28年5月5日	11名	〃	〃
鹿島	昭和54年12月3日	25名	〃	土庄町
橘	昭和55年5月30日	23名	〃	小豆島町
大木戸	昭和57年4月1日	39名	〃	土庄町

婦人防火クラブ、婦人消防クラブ（ 14クラブ 914名 ）

令和元年6月1日現在

クラブの名称	結成年月日	クラブ員数	組織単位	行政区
苗羽婦人防火クラブ	昭和20年10月10日	105名	地区	小豆島町
坂手	昭和22年4月1日	70名	〃	〃
草壁	昭和23年4月1日	105名	〃	〃
福田	昭和24年4月1日	休止	〃	〃
安田	昭和24年7月11日	48名	〃	〃
西村	平成13年4月1日	90名	〃	〃
土庄町婦人防火クラブ連合会	昭和54年12月3日	兼務	〃	土庄町
〃 土庄支部	昭和26年1月1日	39名	〃	〃
〃 淵崎支部	〃	96名	〃	〃
〃 大鐸支部	〃	休止	〃	〃
〃 北浦支部	〃	55名	〃	〃
〃 四海支部	〃	70名	〃	〃
〃 豊島支部	〃	休止	〃	〃
池田婦人防火クラブ	昭和37年1月7日	211名	〃	小豆島町
馬越婦人消防クラブ	昭和56年8月1日	25名	〃	土庄町

4. 防火対象物現況表（150㎡以上）

平成31年4月1日現在（単位：棟）

項 目	町 別 防火対象物区分		土 庄 町		小 豆 島 町		合 計	
			防火 対象 物数	法8 対象 物数	防火 対象 物数	法8 対象 物数	防火 対象 物数	法8 対象 物数
(1)	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等						
	ロ	公 会 堂 又 は 集 会 場	31	31	28	28	59	59
(2)	イ	キャバレー・カフェー等	2	2			2	2
	ロ	遊技場又はダンスホール	1	1			1	1
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等						
	ニ	カラオケボックス等						
(3)	イ	待 合 ・ 料 理 店	1				1	
	ロ	飲 食 店	14	14	10	8	24	22
(4)		百貨店・マーケット・店舗等	32	23	25	18	57	41
(5)	イ	旅館・ホテル・宿泊所	56	40	36	24	92	64
	ロ	共同住宅・寄宿舎等	71	5	97	10	168	15
(6)	イ	病 院 ・ 診 療 所 等	9	2	10	4	19	6
	ロ	養 護 老 人 ホ ー ム 等	14	14	12	10	26	24
	ハ	老人デイサービスセンター等	10	10	11	8	21	18
	ニ	幼 稚 園 ・ 養 護 学 校 等	3	3	4	3	7	6
(7)		小・中・高・大学各種学校	5	4	18	6	23	10
(8)		図 書 館 ・ 博 物 館 等	3	2	9	6	12	8
(9)	イ	サ ウ ナ 等						
	ロ	公 衆 浴 場						
(10)		停 車 場 等	4	3	6		10	3
(11)		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	22	10	15	7	37	17
(12)	イ	工 場 又 は 作 業 場	139	3	194		333	3
	ロ	映 画 ・ テ レ ビ ス タ ジ オ			1		1	
(13)		自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	16		5		21	
(14)		倉 庫	61		85		146	
(15)		前各項に該当しない事業場	49	24	55	19	104	43
(16)	イ	複 合 ・ 特 定 防 火 対 象 物	55	31	55	37	110	68
	ロ	イ以外の複合用途対象物	17	1	12	1	29	2
(17)		重 要 文 化 財 建 造 物 等	2		2		4	
合 計			617	223	690	189	1,307	412

5. 防火管理者選任届状況

平成 31 年 4 月 1 日現在 (単位:棟)

項目	町 別		土 庄 町	小 豆 島 町	合 計
	防火対象物区分				
(1)	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等			
	ロ	公 会 堂 又 は 集 会 場	10	20	30
(2)	イ	キ ャ バ レ ー ・ カ フ ェ ー 等			
	ロ	遊 技 場 又 は ダ ン ス ホ ー ル	1		1
	ハ	性 風 俗 関 連 特 殊 営 業 店 舗 等			
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等			
(3)	イ	待 合 ・ 料 理 店			
	ロ	飲 食 店	6	6	12
(4)		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト ・ 店 舗 等	18	12	30
(5)	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所	37	24	61
	ロ	共 同 住 宅 ・ 寄 宿 舎 等			
(6)	イ	病 院 ・ 診 療 所 等	2	4	6
	ロ	養 護 老 人 ホ ー ム 等	14	10	24
	ハ	老 人 デ イ サービス セ ン タ ー 等	9	8	17
	ニ	幼 稚 園 ・ 養 護 学 校 等	3	3	6
(7)		小 ・ 中 ・ 高 ・ 大 学 各 種 学 校	4	6	10
(8)		図 書 館 ・ 博 物 館 等	2	6	8
(9)	イ	サ ウ ナ 等			
	ロ	公 衆 浴 場			
(10)		停 車 場 等	2		2
(11)		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	7	1	8
(12)	イ	工 場 又 は 作 業 場	3		3
	ロ	映 画 ・ テ レ ビ ス タ ジ オ			
(13)		自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場			
(14)		倉 庫			
(15)		前 各 項 に 該 当 し な い 事 業 場	24	11	35
(16)	イ	複 合 ・ 特 定 防 火 対 象 物	18	29	47
	ロ	イ 以 外 の 複 合 用 途 対 象 物			
(17)		重 要 文 化 財 建 造 物 等			
合 計			160	140	300

6. 建築同意事務処理状況

(1) 町別状況

平成30年4月1日～平成31年3月31日(面積: m²)

工事別	町別	土庄町		小豆島町		合計	
		件数	延面積	件数	延面積	件数	延面積
新築	築	21	7,374.10	7	2,126.62	28	9,500.72
増築	築	5	386.56			5	386.56
改築	築						
用途変更	更	1	199.05	1	131.62	2	330.67
移転	転						
増改築	築						
大規模な修繕							
大規模な模様替え							
その他	他	1	283.28	1	690.24	2	973.52
合計	計	28	8,242.99	9	2,948.48	37	11,191.47

(2) 月別・工事別状況

平成30年4月1日～平成31年3月31日(面積: m²)

区分	工事別	新築	増築	改築	用途変更	その他	合計
		件数	面積	件数	面積	件数	面積
4月	件数	1	2				3
	延面積	67.10	203.12				270.22
5月	件数	6			1	1	8
	延面積	1,986.88			131.62	283.28	2,401.78
6月	件数	4	2		1		7
	延面積	3,087.88	70.72		199.05		3,357.65
7月	件数	4	1				5
	延面積	770.29	112.72				883.01
8月	件数	3					3
	延面積	1,491.91					1,491.91
9月	件数						
	延面積						
10月	件数	2					2
	延面積	393.00					393.00
11月	件数	2					2
	延面積	662.54					662.54
12月	件数	1					1
	延面積	678.68					678.68
1月	件数	1					1
	延面積	40.70					40.70
2月	件数	2				1	3
	延面積	199.43				690.24	889.67
3月	件数	2					2
	延面積	122.31					122.31
合計	件数	28	5		2	2	37
	延面積	9,500.72	386.56		330.67	973.52	11,191.47

(3) 用途別状況

平成30年4月1日～平成31年3月31日 (面積: m²)

項目	町別 防火対象物区分	土庄町		小豆島町		合計	
		件数	延面積	件数	延面積	件数	延面積
(1)	イ	劇場・映画館等					
	ロ	公会堂又は集会場	2	103.04			2 103.04
(2)	イ	キャバレー・カフェ等					
	ロ	遊技場又はダンスホール					
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等					
	ニ	カラオケボックス等					
(3)	イ	待合・料理店					
	ロ	飲食店	2	94.79			2 94.79
(4)		百貨店・マーケット・店舗等	3	1,690.45			3 1,690.45
(5)	イ	旅館・ホテル・宿泊所	1	199.05	3	1,517.22	4 1,716.27
	ロ	共同住宅・寄宿舎等	3	1,416.84			3 1,416.84
(6)	イ	病院・診療所等					
	ロ	養護老人ホーム等					
	ハ	老人デイサービスセンター等	1	2,231.34			1 2,231.34
	ニ	幼稚園・養護学校等					
(7)		小・中・高・大学各種学校			1	473.36	1 473.36
(8)		図書館・博物館等					
(9)	イ	サウナ等					
	ロ	公衆浴場					
(10)		停車場等					
(11)		神社・寺院・教会					
(12)	イ	工場又は作業場	3	734.65	1	369.00	4 1,103.65
	ロ	映画・テレビスタジオ					
(13)		自動車車庫・駐車場					
(14)		倉庫	4	491.48	1	163.00	5 654.48
(15)		前各項に該当しない事業場	5	477.93	2	358.80	7 836.73
(16)	イ	複合・特定防火対象物	2	428.36			2 428.36
	ロ	イ以外の複合用途対象物	1	283.28			1 283.28
(17)		重要文化財建造物等					
		その他	1	91.78	1	67.10	2 158.88
		住宅					
		合計	28	8,242.99	9	2,948.48	37 11,191.47

7. 危険物施設の現況

平成31年4月1日現在

種 別		町 別		
		土 庄 町	小 豆 島 町	合 計
製 造 所			1	1
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	2	12	14
	屋 外 貯 蔵 所	1	2	3
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所			
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	22	23	45
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	18	16	34
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	1	1	2
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	15	18	33
小 計		59	72	131
取 扱 所	給 油 取 扱 所	22	17	39
	第 1 種 販 売 取 扱 所	3	1	4
	第 2 種 販 売 取 扱 所			
	一 般 取 扱 所	13	13	26
	小 計	38	31	69
合 計		97	104	201

8. 危険物施設の許認可状況

平成30年4月1日～平成31年3月31日

種 別		区 分									
		設 置 許 可	変 更 許 可	(完 成 設 置 検 査)	(完 成 変 更 検 査)	承 仮 使 認 用	仮 取 扱 承 認 び	選 保 安 任 監 督 者 届	解 保 安 任 監 督 者 届	廃 止 届	合 計
製 造 所								1	1		2
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	1		1				1			3
	屋 外 貯 蔵 所										
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所										
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所		4		4	4					12
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	2	4		4	2	1		1	1	15
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所										
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	1	2	1	2						3
小 計		4	10	2	10	6	1	1	1	4	39
取 扱 所	給 油 取 扱 所		2		2	2		1	1	1	9
	第 1 種 販 売 取 扱 所										
	第 2 種 販 売 取 扱 所										
	一 般 取 扱 所	1	1	1	1	1		2	1	1	9
	小 計	1	3	1	3	3		3	2	2	18
合 計		5	13	3	13	9	1	5	4	6	59

9. 各種届出事務処理状況

平成30年4月1日～平成31年3月31日

種 別	町 別		合 計
	土 庄 町	小 豆 島 町	
工事整備対象設備等着工届	10	12	22
消防用設備等(特殊消防用設備等)設置届	42	44	86
消防用設備等点検結果報告	110	116	226
防火対象物使用開始届	15	9	24
防火管理者選任(解任)届	27	14	41
消防計画書作成(変更)届	37	17	54
消火・避難訓練実施届	107	125	232
り 災 証 明	5	1	6
ボ イ ラ ー 設 置 届	1	4	5
乾 燥 設 備 設 置 届	0	0	0
発電変電蓄電池設備設置届	13	11	24
ネオン管灯設備設置届	0	0	0
水素ガスを充填する気球の設置届	0	0	0
火災とまぎらわしい行為の届	14	25	39
煙火打ち上げ・仕掛届	5	8	13
催 物 開 催 届	2	0	2
露 店 の 開 設 届	33	39	72
少量危険物貯蔵取扱届	2	5	7
圧縮アセチレンガス貯蔵取扱届	0	0	0
液化ガス貯蔵取扱届	3	0	3
液化石油ガス設備工事届	0	0	0
旅館等適合通知書交付申請	8	7	15
合 計	434	437	871

10. 広報・広聴実施状況

平成30年4月1日～平成31年3月31日

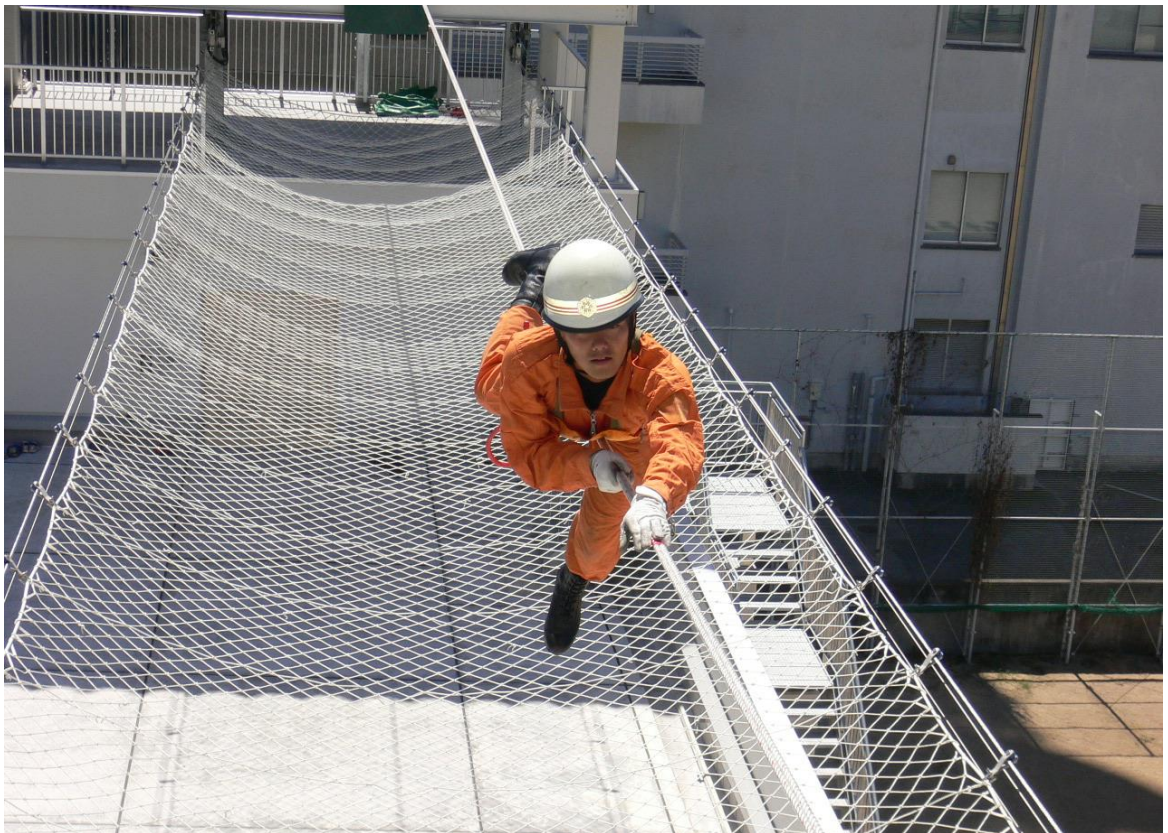
町 別 種 別	土 庄 町			小 豆 島 町			合 計		
	回 数	対 象 人 員 数	指 導 職 員 数	回 数	対 象 人 員 数	指 導 職 員 数	回 数	対 象 人 員 数	指 導 職 員 数
対 象									
学 校									
幼 稚 園 等	8	375	16	10	596	45	18	971	61
旅 館	13	57	42	4	29	13	17	86	55
工 場 ・ 作 業 場	1	190	7				1	190	7
婦 人 会									
老 人 会									
そ の 他	22	441	65	34	799	102	56	1,240	167
合 計	44	1,063	130	48	1,424	160	92	2,487	290

1 1. 中高層建築物(4階以上)の現況表

平成31年4月1日現在

項 目	町 別 階 別 対 象 物	土 庄 町							小 豆 島 町							合 計							
		四 階	五 階	六 階	七 階	八 階	十 階	小 計	四 階	五 階	六 階	七 階	十 階	十 三 階	小 計	四 階	五 階	六 階	七 階	八 階	十 階	十 三 階	合 計
(1)	イ 劇場・映画館等																						
	ロ 公会堂又は集会場	1						1								1							1
(2)	イ キャバレー・カフェー等	1						1								1							1
	ロ 遊技場又はダンスホール																						
	ハ 性風俗関連特殊営業店舗等																						
	ニ カラオケボックス等																						
(3)	イ 待合・料理店																						
	ロ 飲食店																						
(4)	百貨店・マーケット・店舗等																						
(5)	イ 旅館・ホテル・宿泊所	7	3			2	1	13					1	1	2	7	3			2	2	1	15
	ロ 共同住宅・寄宿舎等	7	4	1	1			13	14	17	1				32	21	21	2	1				45
(6)	イ 病院・診療所等									1	2			3		1	2						3
	ロ 養護老人ホーム等		1					1	1					1	1	1							2
	ハ 老人デイサービスセンター等	1						1	1					1	2								2
	ニ 幼稚園・養護学校等																						
(7)	小・中・高・大学各種学校	1						1	1					1	2							2	
(10)	停車場等																						
(11)	神社・寺院・教会		1					1								1							1
(12)	イ 工場・作業場	1						1	3	1				4	4	1							5
	ロ 映画・テレビスタジオ																						
(14)	倉庫																						
(15)	前各項に該当しない事業場	2			1			3	4					4	6			1					7
(16)	イ 複合・特定防火対象物	6	1					7		1		1		2	6	2		1					9
	ロ イ以外の複合用途対象物	6						6		1				1	6	1							7
(17)	重要文化財建造物等																						
合 計		33	10	1	2	2	1	49	24	21	3	1	1	1	51	57	31	4	3	2	2	1	100

消 防 防 災



1. 主たる警防行事（平成30年）

1月 7日	土庄町消防出初式、小豆島町消防出初式	
1月 9日	平成29年度香川県緊急消防援助隊訓練第2回事前訓練	(丸亀市)
1月25日	香川県防災航空隊合同訓練	(小豆島町)
6月 4日	緊急消防援助隊応援計画等に係る主管課長会議	(高松市)
6月26日	平成30年度香川地区大量排出油等防除協議会定例会議	(高松市)
8月 7日	香川県内大規模災害等消防相互応援実施基準及び 緊急消防援助隊応援計画等に係る主管課長会議	(高松市)
9月16日	平成30年度香川県消防操法大会	(高松市)
9月21日	平成30年度県下主管課長会議	(高松市)
10月24日	緊援隊訓練に係る主管課長会議	(高松市)
10月26日	平成30年度県下警防救助事務担当者会議	(琴平町)
11月13日	平成30年度石油コンビナート総合防災訓練	(坂出市)
11月28日	平成30年度香川県緊急消防援助隊訓練	(三豊市)
12月 7日	第27回小豆島フレトピアフェアはしご車展示	(土庄町)

2. 主たる救急行事（平成30年）

1月13日	第32回ドクターヘリ活動検証会	(倉敷市)
1月17日	新事後検証システム意見交換会	(高松市)
2月19日	県内消防広域応援体制の強化及び緊急消防援助隊応援・受隊計画の見直し等に係る主幹課長会議	(高松市)
2月19日	平成29年度第3回香川県メディカルコントロール協議会検討部会	(高松市)
3月 9日	平成29年度事後検証症例発表会	(高松市)
3月18日	平成29年度香川MCLS研修	(坂出市)
3月19日	平成29年度第4回事後検証会議	(高松市)
3月28日	香川県防災航空隊救急救命処置引継要領に係る周知会について	(高松市)
4月11日	新事後検証システムWG会議	(高松市)
4月17日	新事後検証システム消防運用検討部会	(高松市)
6月25日	平成30年度第1回事後検証会議	(高松市)
8月 7日	平成30年度臨時MC検討部会	(高松市)
10月15日	平成30年度第2回事後検証会議	(高松市)
11月 9日	メディカルコントロールセミナー	(三木町)
12月10日	平成30年度第1回香川県メディカルコントロール協議会検討部会	(高松市)
12月17日	ヘリ搬送運用説明会	(高松市)
12月17日	平成30年度第3回事後検証会議	(高松市)
12月18日	救急勉強会	(高松市)
12月22日	第34回ドクターヘリ活動検証会	(倉敷市)

3. 消防車両等配置状況

平成31年4月1日現在

	名 称	種 別	車 名	登 録 年 月 日	備 考
西 署	指 揮 車	指揮車	トヨタ	平成24年12月13日	
	ポンプ1号車	消防ポンプ車CD-1	三菱	平成18年 3月27日	水槽 7000
	ポンプ2号車	消防ポンプ車CD-1	日野	平成24年 2月28日	水槽 6000 CAFS 装置付き
	ポンプ3号車	水槽車小型動力ポンプB-2	日野	平成29年12月14日	水槽2,5000
	はしご車	先端屈折式はしご車 30m級	日野	平成30年10月22日	
	救助工作車	救助工作車II型	日野	平成16年 3月19日	
	防災工作1号車	積載車	三菱	平成22年 9月22日	
	救急1号車	高規格救急車 ハイエース	トヨタ	平成20年 1月25日	
	救急2号車	高規格救急車 ハイエース	トヨタ	平成26年12月16日	
	査察広報1号車	ミニキャブバン	三菱	平成22年 8月24日	
	防火広報車	エブリイバン	スズキ	平成27年10月30日	
東 署	ポンプ4号車	消防ポンプ車CD-1	日野	平成17年 3月23日	
	ポンプ5号車	消防ポンプ車CD-1	日野	平成26年 2月24日	水槽 6000 CAFS 装置付き
	防災工作2号車	積載車	三菱	平成23年 9月28日	
	救急3号車	高規格救急車 グランビア	トヨタ	平成15年 3月20日	
	救急4号車	高規格救急車 ハイエース	トヨタ	平成21年11月27日	
	査察広報2号車	ハイゼットカーゴ	ダイハツ	平成28年 8月31日	

4. 主な機械器具の配置状況

平成31年4月1日現在

器具別		署所別		
		西署	東署	合計
放水器具	消防用ホース65mm	130	119	249
	消防用ホース50mm	135	142	277
	小型動力ポンプ B-3級	1	2	3
	小型動力ポンプ C-1級	1	-	1
	手引ホースカー	2	2	4
	フォグガン	3	2	5
	無反動ノズル	-	2	2
	放水銃	2	1	3
	集水器	9	3	12
	低発砲ノズル8000型	2	1	3
	低発砲ノズル4000型	2	1	3
	低発砲ノズル2000型	-	3	3
	ユニット式プロポーションナー	2	1	3
	ラインプロポーションナー	3	1	4
	ピックアップ式泡ノズル	1	1	2
	ウォーターチャージャー	-	1	1
	背負式ポンプ	5	11	16
	簡易水槽	1	1	2
一般救助用器具	かぎ付はしご	3	1	4
	三連はしご	2	2	4
	救命索発射銃	2	2	4
	サバイバースリング又は救助用縛帯	4	5	9
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	1	1	2
	油圧スプレッダー	1	1	2
	可搬ウィンチ	2	2	4
	マット型空気ジャッキ	1	2	3
	大型油圧スプレッダー	1	1	2
切断用器具	エンジンカッター	2	2	4
	酸素溶断器	1	-	1
	チェンソー	2	3	5
	鉄線カッター	4	8	12
	大型油圧切断機	1	1	2
	空気切断機	1	1	2
破壊用器具	万能斧	2	3	5
	削岩機	1	1	2
	ハンマードリル	3	1	4

測定用器具	複合ガス検知器	1	1	2
呼吸保護用器具	空気呼吸器	23	8	31
	予備ボンベ	22	10	32
	防塵マスク	30	26	56
	送排風機	1	-	1
隊員保護用器具	耐熱防護服	2	2	4
	耐電衣	3	3	6
	耐電ズボン	3	3	6
	耐電長靴	3	3	6
	耐電手袋	10	9	19
	防塵メガネ	30	26	56
水難救助用器具	救命胴衣	30	25	55
	救命浮環	3	4	7
	救命ボート	3	3	6
	船外機	1	-	1
山岳救助用器具	バスケット型担架	2	2	4
その他の救助用器具	投光器	4	2	6
	携帯拡声器	9	1	10
	応急処置用セット	2	-	2
	緩降機	1	-	1
	発電機	5	3	8
その他の器具	空気充填機	1	-	1
	モッコ	1	-	1
救急器具	携帯用酸素吸入器	3	2	5
	自動体外式除細動器	3	3	6
	自動式心臓マッサージ器	1	1	2
	ショックパンツ	3	2	5
	患者監視モニター	4	2	6
	救急資機材滅菌器	1	1	2
	殺菌消毒器	1	1	2
	全脊柱固定具	3	3	6

5. 消火薬剤の備蓄状況

平成31年4月1日現在

薬剤種別	署所別		
	西 署	東 署	合 計
化学消火薬剤 たん白系3%型	1,680ℓ	1,360ℓ	3,040ℓ

6. 消防水利の現況

平成31年4月1日現在

種 別		町 別		合 計
		土 庄 町	小 豆 島 町	
防火水槽	40 m ³ 以上	53	93	146
	40 m ³ 未 満	7	4	11
消 火 栓	150 mm 以上	77	134	211
	150 mm 未 満	563	355	918
そ の 他	プー ル	6	10	16
	池	41	42	83
	海	38	56	94
	井 戸	13	16	29
合 計		798	710	1,508

7. 防災関係届出事務処理状況

平成30年1月1日～12月31日

種 別	署 所 別		合 計
	西 署	東 署	
消防活動に支障をおよぼす恐れのある道路占用届出	27	29	56

8. 災害別出動状況

平成30年1月1日～12月31日

種別 区分	火 災		火災外		救 助		救急支援		危険物の排除		誤報 偵察等		風水害等		その他		合 計	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
災害件数	12件		7件		11件		181件		15件		24件		4件		3件		257件	
西 署	4	50	4	59	7	89	157	555	10	57	16	116	4	19	1	7	203	952
東 署	8	122	3	43	4	43	24	74	5	24	8	38	-	-	2	17	54	361
合 計	12	172	7	102	11	132	181	629	15	81	24	154	4	19	3	24	257	1,313

9. 救急法指導状況

(1) 普通救命講習実施状況

平成30年4月1日～平成31年3月31日

講習種別	実施回数	対象延べ人数
普通救命講習Ⅰ	22	165
普通救命講習Ⅱ	2	10
普通救命講習Ⅲ	4	25
合計	28	200

(2) 救急講習会実施状況

平成30年4月1日～平成31年3月31日

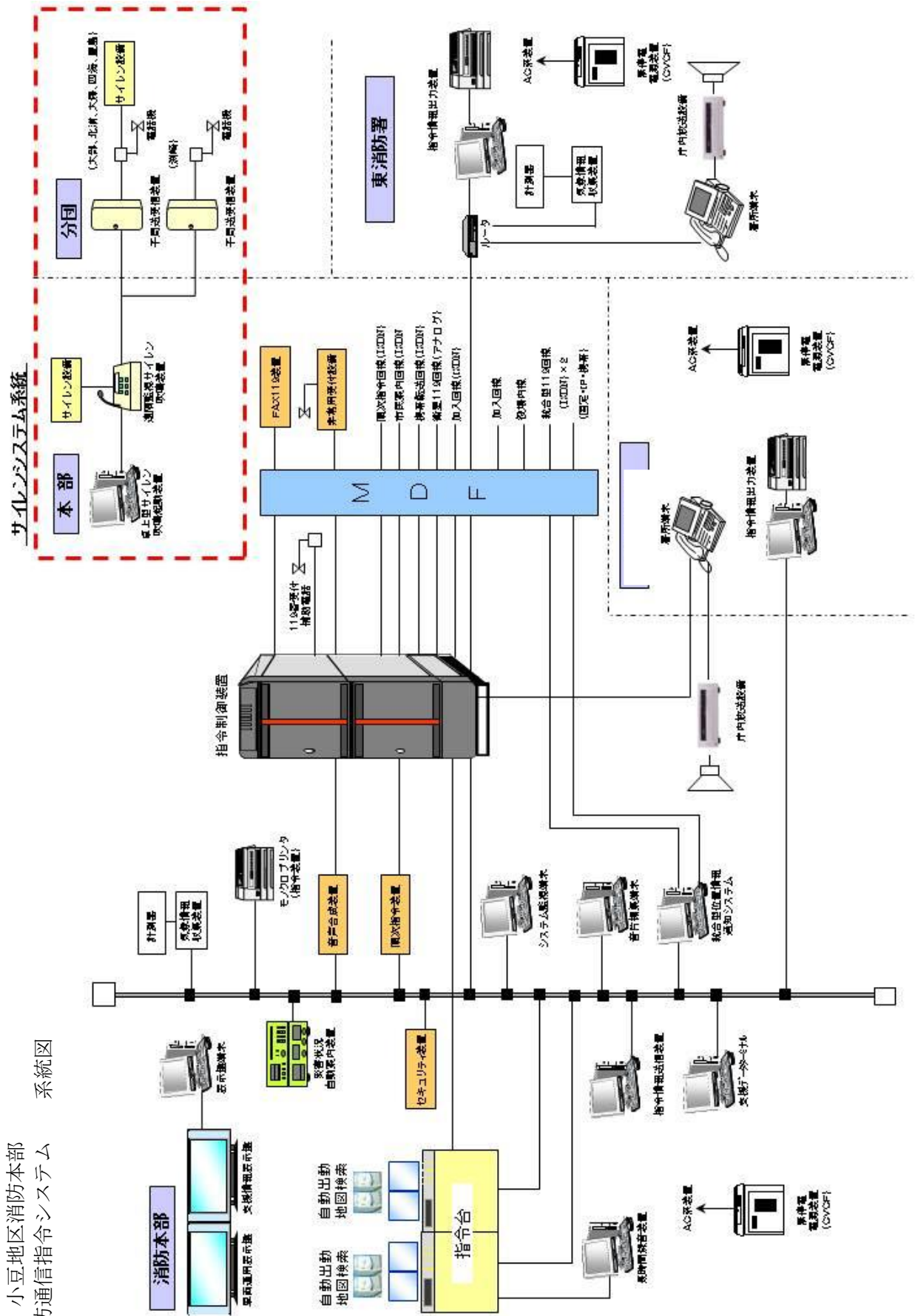
実施回数	対象延べ人数
31	887

情報指令



1. 小豆地区消防本部
消防通信指令システム

系統図



2. 通信施設状況

小豆島西消防署

平成 31 年 4 月 1 日現在

設置場所	局種	呼出名称	出力	活動波1	活動波2	主運用波	統制波1	統制波2	統制波3	署活1	署活2	防災相互波	開始年月日
ポンプ1号車	移動局	しょうざしょうぼう にし 1	5w	○	○	○	○	○	○			○	平成 28 年 3 月 7 日
ポンプ2号車	〃	〃 2	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
ポンプ3号車	〃	〃 3	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
防災工作車	〃	〃 6	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
団本部軽四積載車	〃	〃 8	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
団本部指揮車	〃	〃 9	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
指揮車	〃	〃 10	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
はしご車	〃	〃 11	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
救助工作車	〃	〃 12	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
防火広報車	〃	〃 13	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
査察広報車	〃	〃 14	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
指揮車(後部)	〃	〃 16	〃	○	○	○	○	○	○				〃
通信指令室(予備)	〃	〃 17	〃	○	○	○	○	○	○				〃
高規格救急車1号車	〃	しょうざ きゅうきゅう にし 1	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
高規格救急車2号車	〃	〃 2	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
西 署	〃	しょうざしょうぼう にし 100	1w	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 101	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 102	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 103	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 106	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 108	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 109	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 110	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 111	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 112	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 113	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 114	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 120	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 130	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	しょうざ きゅうきゅう にし 121	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 122	〃	○	○	○	○	○	○				〃

設置場所	局種	呼出名称	出力	活動波1	活動波2	主運用波	統制波1	統制波2	統制波3	署活1	署活2	防災相互波	開始年月日
西 署	移動局	しょうず しょうぼう	1	1w						○	○		平成 28 年 3 月 7 日
"	"	"	2	"						○	○		"
"	"	"	3	"						○	○		"
"	"	"	4	"						○	○		"
"	"	"	5	"						○	○		"
"	"	"	6	"						○	○		"
"	"	"	7	"						○	○		"
"	"	"	8	"						○	○		"
"	"	"	9	"						○	○		"
"	"	"	10	"						○	○		"
"	"	"	11	"						○	○		"
"	"	"	12	"						○	○		"
"	"	"	13	"						○	○		"
"	"	"	14	"						○	○		"
"	"	"	15	"						○	○		"
"	"	"	16	"						○	○		"
"	"	"	17	"						○	○		"
"	"	"	18	"						○	○		"
"	"	"	19	"						○	○		"
"	"	"	20	"						○	○		"
"	"	しょうず かはん にし	1	5w	○	○	○	○	○				"
"	"	しょうず たくじょう にし	1	"	○	○	○	○	○				"

小豆島東消防署

平成 31 年 4 月 1 日現在

設置場所	局種	呼出名称	出力	活動波1	活動波2	主運用波	統制波1	統制波2	統制波3	署活1	署活2	防災相互波	開始年月日
ポンプ 4 号車	移動局	しょうず しょうぼう ひがし	4	5w	○	○	○	○	○			○	平成 28 年 3 月 7 日
ポンプ 5 号車	"	"	5	"	○	○	○	○	○			○	"
防災工作車	"	"	7	"	○	○	○	○	○			○	"
査察広報車	"	"	15	"	○	○	○	○	○			○	"
高規格救急車3号車	"	しょうず きゅうきゅう ひがし	3	"	○	○	○	○	○			○	"
高規格救急車4号車	"	"	4	"	○	○	○	○	○			○	"
東 署	"	しょうず しょうぼう ひがし	104	1w	○	○	○	○	○				"

設置場所	局種	呼出名称	出力	活動波1	活動波2	主運用波	統制波1	統制波2	統制波3	署活1	署活2	防災相互波	開始年月日
東 署	移動局	〃 105	1w	○	○	○	○	○	○				平成 28 年 3 月 7 日
〃	〃	〃 107	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 115	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 116	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 140	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 150	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	しょうず きゅうきゅう ひがし 123	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 124	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	しょうず しょうぼう 21	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 22	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 23	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 24	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 25	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 26	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 27	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 28	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 29	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 30	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 31	〃							○	○		〃
〃	〃	しょうず かはん ひがし 2	5w	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	しょうず たくじょう ひがし 2	〃	○	○	○	○	○	○				〃

基地局

平成 31 年 4 月 1 日現在

設置場所	局種	呼出名称	出力	活動波1	活動波2	主運用波	統制波1	統制波2	統制波3	署活1	署活2	防災相互波	開始年月日
土庄基地局	基地局	とのしょうきちきよく	10w	○	○	○	○	○	○				平成 28 年 3 月 7 日
田井基地局	〃	たいきちきよく	〃	○	○	○	○	○	○				〃
内海基地局	〃	うちのみきちきよく	〃	○	○	○	○	○	○				〃
福田基地局	〃	ふくだきちきよく	〃	○	○	○	○	○	○				〃

3. 119番受信状況

平成30年1月1日～12月31日

区分 月別	火災	救急	救助	その他	問い合わせ	誤報	いたずら	訓練 試験	合計
	1月	5	105	3	20	9	4	0	17
2月	2	66	2	4	13	4	0	25	116
3月	0	98	0	16	13	3	1	50	181
4月	2	70	1	7	5	5	2	37	129
5月	1	79	0	12	4	3	0	7	106
6月	1	83	1	11	12	4	0	46	158
7月	2	111	2	15	9	9	0	29	177
8月	17	108	0	16	10	9	3	17	180
9月	2	74	2	21	14	3	0	59	175
10月	4	76	0	13	5	4	0	19	121
11月	2	110	1	9	12	7	0	34	175
12月	1	99	0	21	24	4	5	35	189
合計	39	1,079	12	165	130	59	11	375	1,870

4. 気象状況（観測地：消防本部）

平成30年1月1日～12月31日

区分 月別	天気日数				気温(℃)		湿度(%)		最多 風向	平均 風速 (m/s)	降雨 日数	降雨量 (mm)
	晴	曇	雨	雪	最高	最低	最高	最低				
1月	16	12	3	0	12.7	-2.0	97.5	36.9	西	3.7	7	20.5
2月	12	13	1	2	14.3	-2.2	97.5	31.6	西	3.0	4	26.5
3月	18	7	6	0	21.6	0.3	97.5	28.6	西	2.5	8	98.0
4月	13	16	1	0	24.0	5.1	97.5	24.1	西	2.2	7	37.0
5月	12	14	5	0	26.3	9.8	97.5	15.0	西	2.2	11	113.5
6月	5	18	7	0	30.8	14.6	97.7	33.8	西	1.7	12	110.0
7月	15	12	4	0	36.1	21.6	97.5	46.9	東	2.4	8	301.0
8月	15	15	1	0	35.6	19.5	96.6	40.2	東	2.5	5	25.5
9月	5	15	10	0	30.8	15.4	97.5	38.0	北東	2.1	15	298.5
10月	15	14	2	0	31.1	10.3	97.5	36.9	北東	2.5	7	30.5
11月	16	12	2	0	22.7	3.9	97.4	29.9	北東	2.1	3	5.0
12月	13	15	3	0	19.7	1.2	97.7	40.8	西	3.1	11	29.0
合計	155	163	45	2							98	1,095.0

・天気日数、最高気温、最低気温、湿度、最多風向、平均風速は当日の観測値

5. 気象情報受理状況

平成30年1月1日～12月31日

種 別		月												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
特別警報	暴風特別警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	暴風雪特別警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	大雨特別警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	大雪特別警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	高潮特別警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	波浪特別警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
警報	暴風警報	-	-	1	-	-	-	1	1	2	-	-	-	5
	暴風雪警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	大雨警報	-	-	-	-	-	-	1	1	3	-	-	-	5
	大雪警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	高潮警報	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	2
	波浪警報	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	4
	洪水警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
小計	0	0	1	0	0	0	3	4	8	0	0	0	16	
注意報	風雪注意報	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	強風注意報	3	6	3	4	1	-	3	3	4	3	-	3	33
	大雨注意報	-	-	-	-	-	-	3	2	6	-	-	-	11
	大雪注意報	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	高潮注意報	-	-	-	-	-	-	2	2	4	1	-	-	9
	波浪注意報	3	4	2	4	1	-	3	3	4	3	-	3	30
	洪水注意報	-	-	-	-	1	-	2	1	2	-	-	-	6
	着雪注意報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	乾燥注意報	5	5	3	7	3	-	-	-	-	1	-	-	24
	濃霧注意報	1	-	2	1	2	3	1	-	-	-	-	1	11
	霜注意報	-	-	14	3	-	-	-	-	-	-	-	-	17
	なだれ注意報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	融雪注意報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	低温注意報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	着氷注意報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
雷注意報	2	2	3	4	6	7	12	14	4	3	1	2	60	
小計	16	20	27	23	14	10	26	25	24	11	1	9	206	
合計	16	20	28	23	14	10	29	29	32	11	1	9	222	

火災統計



火 災 統 計

1. 火災発生状況

平成30年1月1日～12月31日

区 分		町 別	土 庄 町		小 豆 島 町				合 計	
			29年	30年	内 海 方 面		池 田 方 面		29年	30年
					29年	30年	29年	30年		
全 火 災	件 数		8	8	6	5	3	3	17	16
	損害額 千円		11,473	5,896	21,165	10,576	2,444	249	35,082	16,721
火 災 種 別	建 物	件 数	5	3	5	3	2	2	12	8
		焼損床面積 m ²	143.9	74	287.2	500	119	26	550.1	600
		焼損表面積 m ²	3	1.14	66	34.05		12	69	47.19
		損害額 千円	4,498	2,324	20,200	10,443	398	249	25,096	13,016
	林 野	件 数	1	1				1	1	2
		焼損面積 a	40.78	0.01				12	40.78	12.01
		損害額 千円	6,975						6,975	
	車 両	件 数		1		1	1		1	2
		損害額 千円		389		6	2,046		2,046	395
	船 舶	件 数		1						1
		損害額 千円		3,162						3,162
	航 空 機	件 数								
		損害額 千円								
	そ の 他	件 数	2	2	1	1			3	3
		焼損面積 a	3	0.55	16				19	0.55
損害額 千円			21	965	127			965	148	
り 災 世 帯 数			3	4	4	2	1		8	6
り 災 者 数 (人)			6	9	9	3	1		16	12
死 者 (人)					1				1	
負 傷 者 (人)				4	3		1	1	4	5
出火率(1万人あたり)(件)			5.6	5.7	※6.0	※5.4	※6.0	※5.4	5.8	5.6

※小豆島町の出火率は両方面合計したもの

土 庄 町 人 口 14,002人

小豆島町人口 14,788人 (平成30年12月 1日現在 住民基本台帳による)

(内海 10,294人 池田 4,494人)

2. 時間別火災状況

区分 時間別	火 災 件 数	火 災 種 別						焼 損 面 積						損害額 (千円)
		建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	建 物		林 野 _a	そ の 他 _a	船 舶	航 空 機	
								床面積 m ²	表面積 m ²					
0時～ 1時														
1～ 2														
2～ 3														
3～ 4														
4～ 5														
5～ 6														
6～ 7														
7～ 8		1							0.54					2
8～ 9			1							0.01				
9～10														
10～11		1	1						34	12				286
11～12				1										133
12～13		1						500						10,156
13～14		2					1		12.05					16
14～15		2						100						2,521
15～16							1			0.55				20
16～17														
17～18		1			1				0.6					3,197
18～19							1							1
19～20														
20～21														
21～22														
22～23														
23～24														
不 明				1										389
合 計		8	2	2	1		3	600	47.19	12.01	0.55			16,721

3. 月・曜日別火災状況

月別 曜日別	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計	損害額 (千円)
月														
火	1											1	2	10,156
水								1	1				2	3,164
木								1			1	1	3	2,449
金				1				1			1		3	236
土	1								1			1	3	312
日		1						1					2	15
不 明					1								1	389
合 計	2	1		1	1			4	2		2	3	16	16,721

4. 月別火災状況

月別 種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
建物	2							3	1		2		8
林野		1										1	2
車両					1				1				2
船舶								1					1
航空機													
その他				1								2	3
合計	2	1		1	1			4	2		2	3	16

5. 覚知別火災状況

覚知別 署所別	119	加入電話	駆け付け	事後覚知	その他	計	損害額 (千円)
西 署	3			4	1	8	5,896
東署 (内海方面)	3	1		1		5	10,576
東署 (池田方面)	2	1				3	249
合計	8	2		5	1	16	16,721

6. 原因別火災状況

区分 原因別	火災 件数	火 災 種 別						焼 損 面 積				損 害 額 (千円)	
		建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	建 物 床面積 m ²	建 物 表面積 m ²	林 野 ^a	そ の 他 ^a		
ガスコンロ	2	2							1.14				37
不明	3	1		1		1	500						10,546
子供の火遊び													
電灯・電話等の配線	2	1			1		74						5,449
電気装置													
取 灰													
マ ッ チ													
放 火	2		1			1				0.01	0.55		20
放火の疑い													
その他	7	4	1	1		1	26	46.05		12			669
合計	16	8	2	2	1	3	600	47.19		12.01	0.55		16,721

7. 建物火災用途別火災状況（月別）

用途別	月別												計	床面積 m ²	表面積 m ²	損害額 (千円)
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
住 宅								1			1		2		1.14	37
住宅・物置							1						1	74		2,287
店 舗																
納 屋							1						1	26		234
倉 庫	1												1		34	286
その他の建築物	1						1			1			3	500	12.05	10,172
合 計	2						3	1		2			8	600	47.19	13,016

8. 過去10ヶ年火災状況

年別	区分	火 災 件 数			損 害 額 (千円)				
		土庄町	小豆島町		計	土庄町	小豆島町		計
			内海方面	池田方面			内海方面	池田方面	
平成21年		8	8	5	21	10,583	40,688	562	51,833
平成22年		3	5	4	12	2,379	4,002	683	7,064
平成23年		7	5	7	19	3,755	2,219	31,655	37,629
平成24年		5	3	5	13	5,064	7,477	591	13,132
平成25年		2	6	3	11	0	9,870	5,285	15,155
平成26年		10	9	3	22	3,394	952	1,412	5,758
平成27年		4	4	0	8	216	200	0	416
平成28年		4	9	2	15	8,531	4,842	429	13,802
平成29年		8	6	3	17	11,473	21,165	2,444	35,082
平成30年		8	5	3	16	5,896	10,576	249	16,721
10年間平均		6	6	4	15	5,129	10,199	4,331	19,659

※10年間平均については小数点以下を四捨五入したもの

救急統計



救 急 統 計

1. 事故別救急出場状況

平成30年1月1日～12月31日

事故別	月 別													合 計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
出 場 件 数	144	105	136	89	114	111	133	138	103	106	128	136	1,443	
搬 送 人 員	133	97	124	82	105	109	126	134	96	102	122	121	1,351	
火 災	出場件数	3	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	6	
	搬送人員	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
自然災害	出場件数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
	搬送人員	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	
水 難	出場件数	0	0	0	0	0	1	2	2	2	1	0	9	
	搬送人員	0	0	0	0	0	1	2	2	3	1	0	10	
交通事故	出場件数	7	6	6	4	7	13	13	6	9	3	9	87	
	搬送人員	7	6	6	4	8	16	13	5	10	3	10	92	
労働災害	出場件数	0	3	2	0	3	0	3	4	0	0	2	20	
	搬送人員	0	3	1	0	3	0	3	4	0	0	2	19	
運動競技	出場件数	0	0	0	1	6	1	1	2	1	0	1	14	
	搬送人員	0	0	0	1	6	1	1	2	1	0	1	14	
一般負傷	出場件数	18	16	23	22	16	10	19	18	18	26	41	244	
	搬送人員	16	14	21	21	15	9	19	18	18	28	40	235	
加 害	出場件数	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0	5	
	搬送人員	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0	5	
自損行為	出場件数	2	0	2	2	1	0	0	1	1	0	1	12	
	搬送人員	2	0	2	1	1	0	0	0	0	0	2	8	
急 病	出場件数	94	58	72	48	60	67	75	85	50	57	58	815	
	搬送人員	89	54	66	45	52	64	68	85	46	53	53	752	
そ の 他	出場件数	20	21	31	11	20	19	18	20	20	18	15	230	
	搬送人員	19	19	28	10	19	18	17	18	17	16	15	213	

2. 覚知別救急出場状況

覚 知 別	119番	一般加入	駆け付け	そ の 他	計
救 急 件 数	1,105	317	12	9	1,443

3. 医療機関等収容可能状況照会回数（救急出場時）

照会回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回以上	計
搬送人員	1,339	7	4	0	0	1	1,351

4. 救急隊員の行った応急処置数

処置別	事故別					合計
	急病	交通事故	一般負傷	その他		
応急処置対象人員	752	91	235	272		1,350
止血	2	7	17	5		31
固定	27	61	115	29		232
人工呼吸	6			5		11
心肺蘇生	24			5		29
酸素吸入	192	7	26	82		307
気道確保	37		2	9		48
保温	141	10	26	37		214
被覆	4	25	67	11		107
在宅療法継続	30		5	4		39
ショックパンツによる血圧保持						
除細動	3					3
血糖測定	16					16
静脈路確保	(CPA前)	7		1		8
	(CPA後)	9				9
ブドウ糖投与	6					6
薬剤投与	7			7		7
その他の応急処置	688	71	190	154		1,103
血圧測定	711	89	229	250		1,279
心音・呼吸音等の聴取	482	62	108	74		726
血中酸素飽和度の測定	727	90	234	258		1,309
心電図	642	33	125	155		955

5. 時間別救急出場状況

事故別	時間別												計
	0～	2～	4～	6～	8～	10～	12～	14～	16～	18～	20～	22～	
急病	44	35	49	71	108	88	91	75	64	79	62	49	815
交通事故	0	1	3	8	9	14	9	13	13	12	5	0	87
一般負傷	10	1	7	23	37	28	29	30	32	26	14	7	244
転院搬送	6	4	3	7	21	42	40	29	29	13	12	8	214
その他	3	1	1	5	17	13	16	11	5	5	5	1	83
合計	63	42	63	114	192	185	185	158	143	135	98	65	1,443

6. 曜日別救急出場状況

曜日別	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	合計
救急件数	212	174	203	207	218	220	209	1,443

7. 現場到着所要時間別出場状況

時間 事故別	3分未満		3分以上 5分未満		5分以上 10分未満		10分以上 20分未満		20分以上		計	平均所要時間 (分)
	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外		
急病	9		133		424		216		33		815	8.3
交通事故	5		8		46		24		4		87	8.5
一般負傷	4		44		128		58		10		244	8.1
その他	19		18		68		184		8		297	10.2
合計	37		203		666		482		55		1,443	

8. 収容所要時間別搬送人員

所要時間 事故別	10分未満		10分以上 20分未満		20分以上 30分未満		30分以上 60分未満		60分以上 120分未満		120分以上		合計	
	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外
急病			11		265		449		27				752	
交通事故					33		55		4				92	
一般負傷			1		68		155		11				235	
その他	2		9		69		134		50	48	8	8	272	56
合計	2		21		435		793		92	48	8	8	1,351	56

9. 年齢区分別搬送人員

事故別 年齢別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
新生児											1	1
乳幼児			2	1			4			21	10	38
少年		1	1	5		7	8			8	3	33
成年	1	1	5	46	14	7	33	3	6	160	56	332
高齢者			2	40	5		190	2	2	563	143	947
合計	1	2	10	92	19	14	235	5	8	752	213	1,351

10. 発生場所別搬送人員

事故別 場所別	住宅	公衆場所	仕事場	道路	その他	合計
急病	605	108	9	20	10	752
交通事故	3	4		84	1	92
一般負傷	123	59	1	34	18	235
その他	9	227	12	7	17	272
合計	740	398	22	145	46	1,351

11. 管轄外転院搬送件数

搬送種別 年別	巡視艇	高松市消防局 救急艇	ヘリコプター	フェリー	海上タクシー (高速艇等)	その他	合計
平成23年	3	19	47	104	8(3)		181
平成24年		33	33	97	2(1)		165
平成25年	1	19	48	85	1(0)		154
平成26年	3	31	56	86	0(1)	1	178
平成27年		24	92	82		1	199
平成28年		28	85	76	1(0)		190
平成29年	2	29	121	86			238
平成30年		37	98	56	1		192

1 2. 傷病程度別搬送人員

傷病程度 \ 事故別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
死亡			2						2	19		23
重症			2	11	2		27		1	95	29	167
中等症			1	22	5	1	98	3	2	315	49	496
軽症	1	2	5	59	12	13	110	2	3	323	3	533
その他											132	132
合計	1	2	10	92	19	14	235	5	8	752	213	1,351

1 3. 小豆2町、年別救急出場状況

町別 \ 年別		21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	10年間平均	
土庄町	出場件数	577	688	599	651	649	588	607	523	555	605	604	
	搬送人員	528	629	552	581	594	538	558	472	512	562	553	
小豆島町	内海方面	出場件数	450	541	511	488	516	464	517	440	461	488	488
		搬送人員	433	528	482	449	472	412	466	393	412	443	449
	池田方面	出場件数	188	177	200	198	184	168	166	284	412	350	233
		搬送人員	178	166	189	187	169	152	160	271	399	346	222
郡外	出場件数	1	1	1	1								
	搬送人員	1	1	1	1								
合計	出場件数	1,216	1,407	1,311	1,338	1,349	1,220	1,290	1,247	1,428	1,443	1,325	
	搬送人員	1,140	1,324	1,224	1,218	1,235	1,102	1,184	1,136	1,323	1,351	1,224	

※10年間平均については小数点以下を四捨五入したもの

1 4. 過去10ヶ年の主な救急出場状況

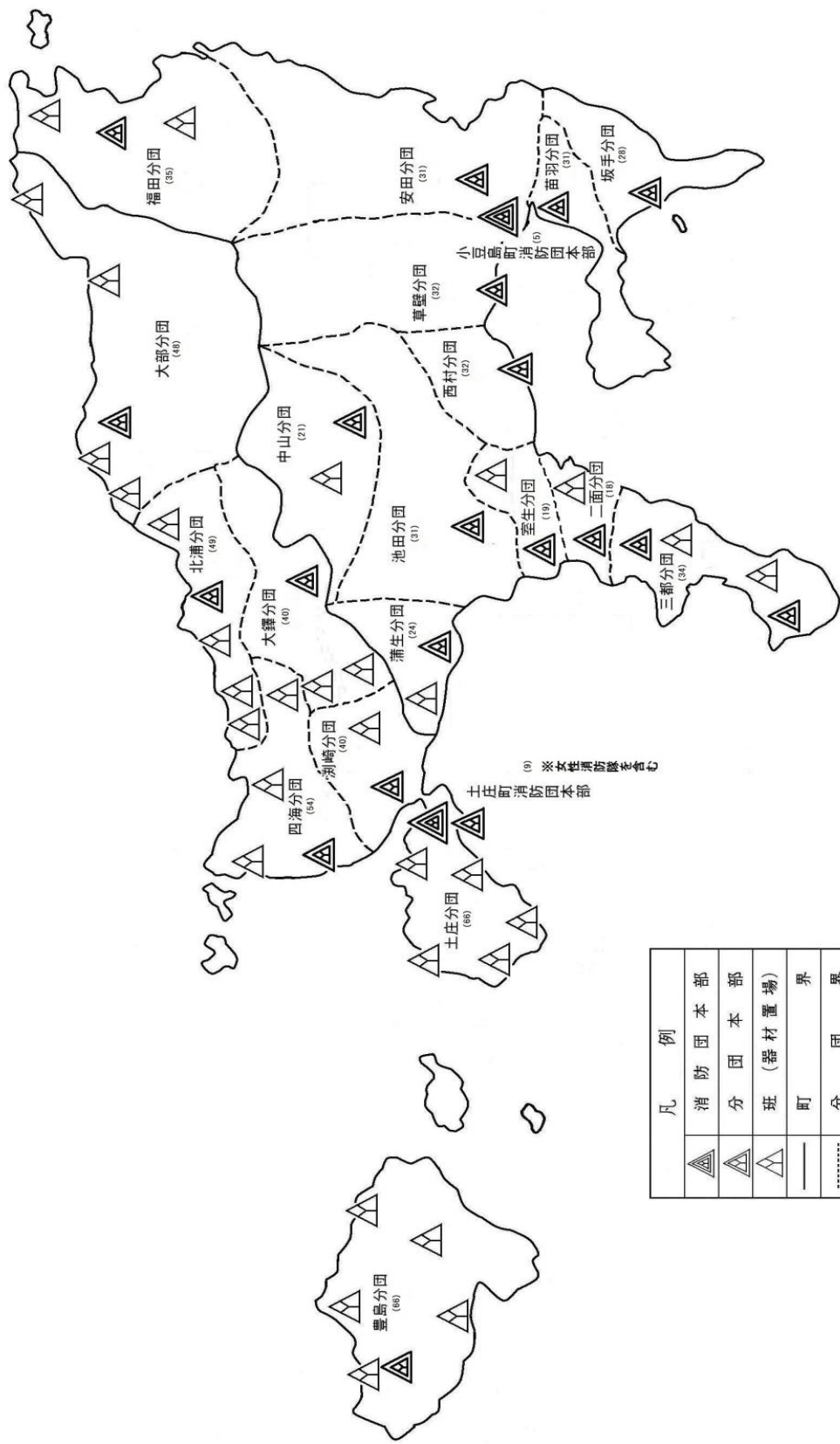
町別 \ 年別	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	10年間平均
急病	688	782	778	767	799	700	730	717	757	815	753
交通事故	95	114	89	99	81	84	106	97	104	87	96
一般負傷	181	237	189	223	215	198	191	185	265	244	213
その他	252	274	255	249	254	238	263	248	302	297	263
合計	1,216	1,407	1,311	1,338	1,349	1,220	1,290	1,247	1,428	1,443	1,325

※10年間平均については小数点以下を四捨五入したもの

消防団



1.2 町消防団現勢分布図

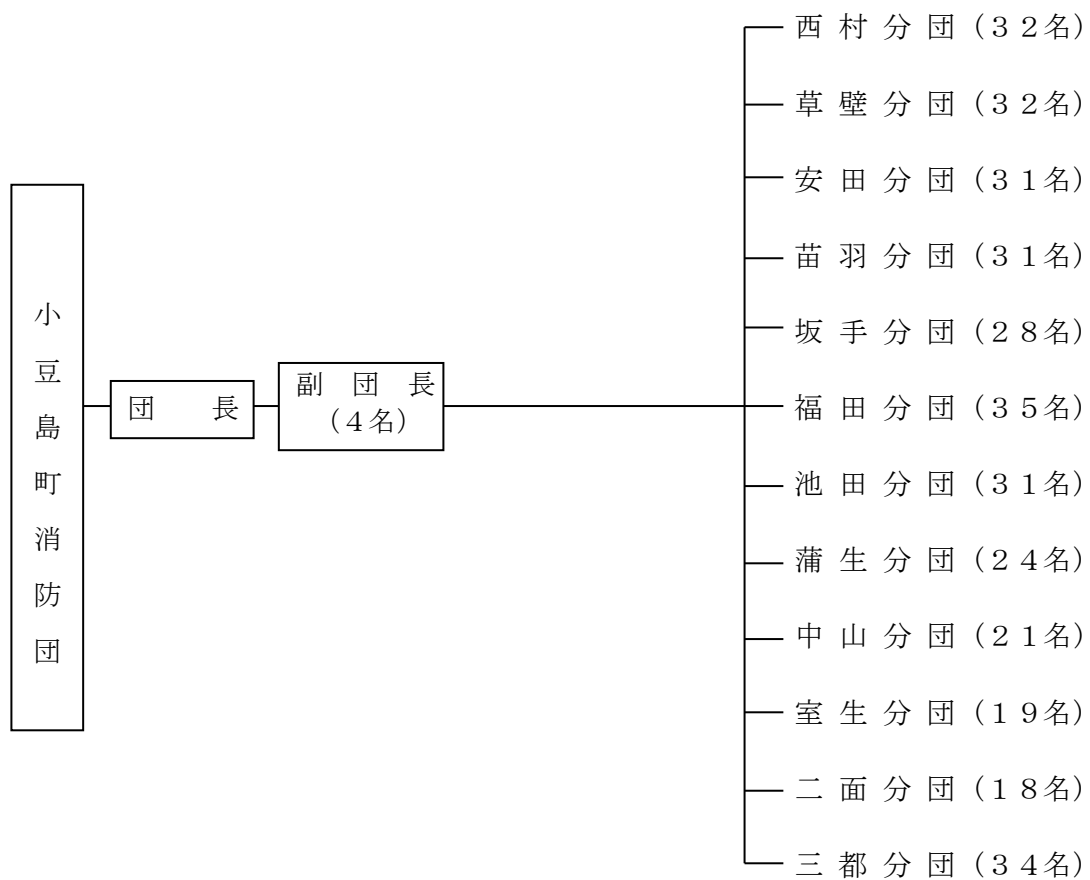
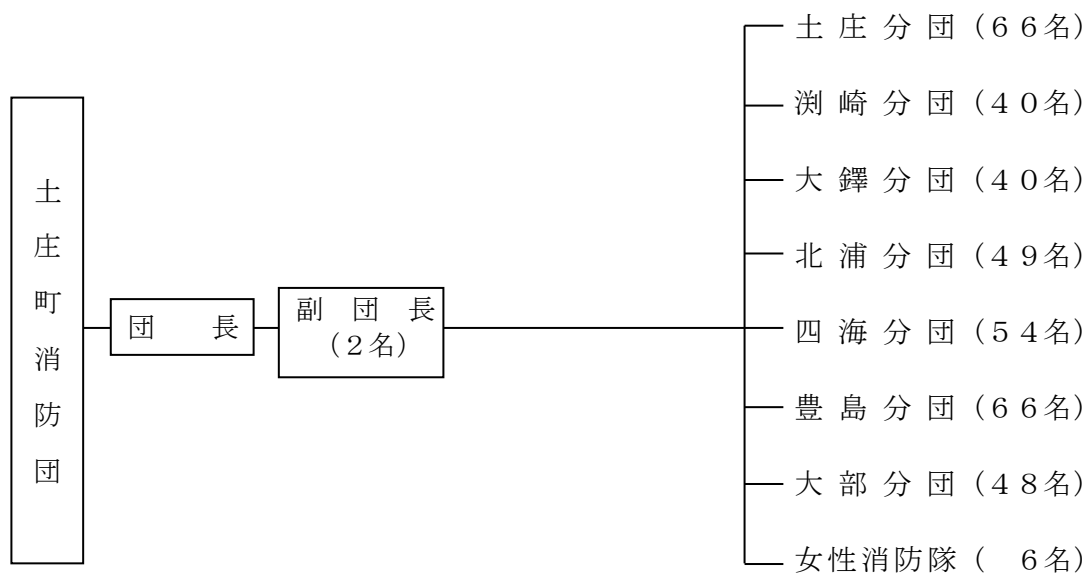


凡 例	
	消防団本部
	分団本部
	班 (器材置場)
—	町界
.....	分団界

() 内は人員

2. 消防団の組織・機構

平成31年4月1日現在



3. 消防団員の勤務年数及び年齢
(勤務年数)

平成31年4月1日現在

年齢別 \ 団別	土庄町消防団	小豆島町消防団	合計
1年未満	15	10	25
1年～5年	82	46	128
5年～10年	75	51	126
10年～15年	83	75	158
15年～20年	53	58	111
20年～25年	36	48	84
25年～30年	11	23	34
30年～35年	13	21	34
35年以上	4	9	13
合計	372	341	713
平均勤続年数	10.7	14.7	12.7

(年齢)

平成31年4月1日現在

年齢別 \ 団別	土庄町消防団	小豆島町消防団	合計
18才～20才	0	2	2
21才～25才	4	6	10
26才～30才	33	28	61
31才～35才	64	42	106
36才～40才	94	76	170
41才～45才	96	60	156
46才～50才	40	55	95
51才～55才	19	42	61
56才～60才	13	26	39
61才以上	9	4	13
合計	372	341	713
平均年齢	40.6	42.2	41.4

4. 消防団員数及び装備状況
(団員数)

平成31年4月1日現在

階級別 \ 団別	階級別						団員	合計
	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長		
土庄町消防団	1	2	7	7	14	48	293	372
小豆島町消防団	1	4	12	13	13	56	242	341
合計	2	6	19	20	27	104	535	713

(装備状況)

平成31年4月1日現在

種別	ポンプ車	積載車	小型動力ポンプ	無線機
土庄町消防団	7	29	33	29
小豆島町消防団	3	21	19	58
合計	10	50	52	87

5. 町別消防車両等種別現況

平成31年4月1日現在

		種別	年式	車名	ポンプ型式	馬力数	購入年月日	
土庄町消防団	団本部	指揮車	H28	トヨタ		110	H28. 3.14	
		積載車	H7	日産		98	H7.12.26	
		軽四積載車	H31	スズキ		50	H31. 3.20	
	土庄分団	ポンプ車	A-2	H25	日野	二段バランスタービン	150	H25. 9. 3
		軽四積載車		H28	三菱		50	H28. 3. 8
		軽四積載車		H29	三菱		50	H29.11. 1
		軽四積載車		H3	スズキ		30	H3. 6.28
		軽四積載車		H25	三菱		50	H25.11. 1
		軽四積載車		H30	ダイハツ		46	H30.12.17
	湊崎分団	ポンプ車	A-2	H5	三菱	二段バランスタービン	130	H5. 9.30
		軽四積載車		H24	三菱		48	H24.10.12
	大鐸分団	ポンプ車	A-2	H15	イズズ	二段バランスタービン	130	H15. 2.25
		軽四積載車		H18	ダイハツ		33	H18. 2. 9
		軽四積載車		H13	三菱		30	H13.11. 5
		軽四積載車		H10	三菱		30	H10. 4.16
	北浦分団	ポンプ車	A-2	H7	三菱	二段バランスタービン	130	H7. 8.25
		軽四積載車		H8	三菱		30	H8.11.12
		軽四積載車		H4	ホンダ		38	H4. 4.28
		軽四積載車		H3	ホンダ		38	H3.11. 7
		軽四積載車		H3	ホンダ		38	H3.11. 7
	四海分団	ポンプ車	A-2	H9	三菱	二段バランスタービン	130	H9. 9. 2
		軽四積載車		H9	ホンダ		38	H9. 3.12
		軽四積載車		H4	ホンダ		38	H4. 2.27
		軽四積載車		H4	ホンダ		38	H4. 4.28
	豊島分団	ポンプ車	A-2	H12	三菱	二段バランスタービン	130	H12. 9.25
		軽四積載車		H2	三菱		30	H2.11. 8
		軽四積載車		H25	ダイハツ		53	H25.10.22
軽四積載車			H18	三菱		35	H18. 2. 9	
軽四積載車			S63	三菱		30	S63. 7. 1	
軽四積載車			H22	ダイハツ		49	H22.11.16	
軽四積載車			H18	ホンダ		46	H18. 7.17	
大部分団	ポンプ車	A-2	H27	日野	二段バランスタービン	150	H27. 2.19	
	軽四積載車		H6	三菱		42	H6. 6.17	
	軽四積載車		H6	三菱		42	H6. 6.17	
	軽四積載車		H6	三菱		42	H6. 6.17	
	軽四積載車		H6	三菱		42	H6. 6.17	
	軽四積載車		S63	三菱		30	S63.11.21	

小豆島町消防団	団本部	積載車		H 8	トヨタ		105	H 8.10.23
		積載車		H 6	日産		91	H 6. 1.28
		軽四積載車		H13	スバル		34	H13. 4. 1
	西村分団	積載車		H19	三菱		110	H19. 3.19
		軽四積載車		S62	スズキ		28	S62.11.27
	草壁分団	積載車		H19	日産		98	H19. 2.19
		積載車		H 4	トヨタ		105	H 4. 8.28
	安田分団	積載車		H12	三菱		105	H12. 8.29
		軽四積載車		H 7	スズキ		42	H 7. 7.24
	苗羽分団	積載車		H22	イスズ		110	H22. 3.26
		積載車(人搬)		H 9	日産		98	H 9. 9.18
	坂手分団	ポンプ車	A-2	H27	日野	二段バランスタービン	150	H27. 3.23
		軽四積載車		H 8	スズキ		42	H 8. 9.27
	福田分団	ポンプ車	A-2	H27	日野	二段バランスタービン	150	H27. 2.19
		軽四積載車		H 8	スズキ		42	H 8. 3.18
		軽四積載車		H12	スズキ		49	H12.11. 9
		軽四積載車		H12	スズキ		49	H12.11.10
	池田分団	ポンプ車	A-2	H 7	三菱	二段バランスタービン	110	H 7.10.12
	蒲生分団	積載車		H13	三菱		94	H13. 9. 4
	中山分団	積載車		H12	三菱		94	H12. 2.28
室生分団	積載車		H15	三菱		94	H15. 9. 3	
二面分団	積載車		H10	トヨタ		91	H10. 3.10	
三都分団	積載車		H14	三菱		94	H14. 8.20	
	積載車		H11	三菱		94	H11. 3.17	

6. 消防団員報酬調

平成31年4月1日現在

階級 団別	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
土庄町消防団	75,000	60,000	47,000	33,000	25,000	21,000	17,000
小豆島町消防団	75,000	60,000	47,000	33,000	25,000	21,000	17,000

7. 消防団員諸手当調

平成31年4月1日現在

区分 団別	水・火災出動 (1回あたり)	警戒出動 (1回あたり)	訓練出動 (1回あたり)
土庄町消防団	2,000	2,000	2,000
小豆島町消防団	2,000	2,000	2,000